

とやまDXコンソーシアム企業アンケート調査結果<R7.9実施>

1 調査の目的

県内企業のDX進捗状況（IoT・AIの導入を含む）やニーズ等を的確に捉え、今後の事業に活かすことを目的としてアンケート調査を実施するもの

2 調査対象

とやまDXコンソーシアム会員企業 350社(産業団体等は除く)
とやまDXコンソーシアム非会員企業 596社(産業団体等は除く)

3 有効回答数・回答率

調査対象件数：946社(R6:939社)
有効回答件数：223社(R6:320社)
有効回答率：23.6%(R6:34.1%)

4 調査期間

令和7年8月22日(金)～令和7年9月12日(金)

5 回答者の構成

経営者・経営層：110名(49.3%)
部長など管理職：63名(28.3%)
実務担当者：50名(22.4%)

6 回答者が所属する企業の業種

製造業	117社(52.5%)
建設業	41社(18.4%)
情報通信業	20社(9.0%)
卸売・小売業	17社(7.6%)
運輸業・郵便業	6社(2.7%)
その他	22社(9.8%)

7 回答者のDX推進に関する立場(複数回答可)

導入意思決定者：98名(44.0%)
導入予算決定者：73名(32.7%)
プロジェクト責任者：40名(17.9%)
プロジェクト推進担当者：45名(20.2%)
IT/デジタル部門担当者：59名(26.5%)
各事業部担当者：54名(24.2%)
その他：13名(5.8%)

8 回答者が所属する企業の従業員規模

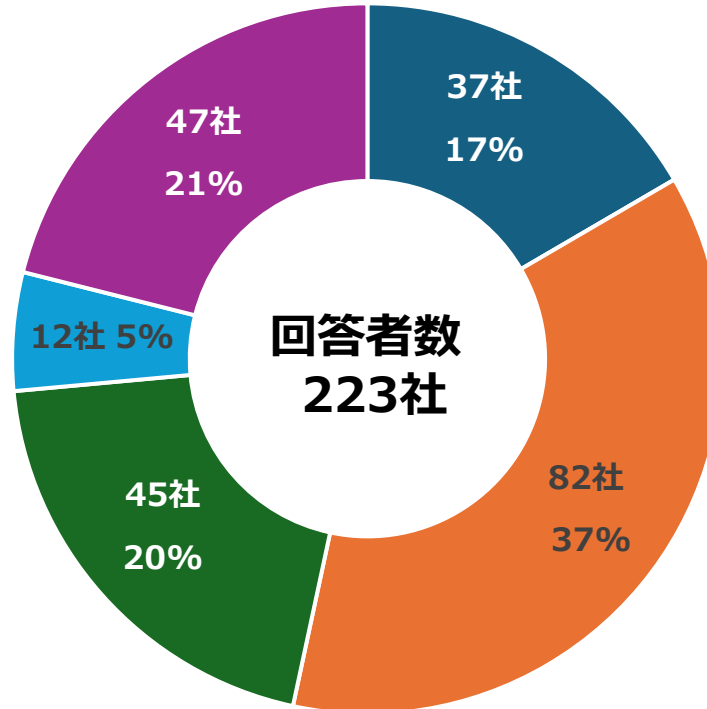
20人以下	81社(36.3%)
21人～100人	80社(35.9%)
101人～300人	34社(15.2%)
301人～	28社(12.6%)

9 回答者が所属する企業の資本金規模

～100万円	4社(1.8%)
101～500万円	21社(9.4%)
501～1000万円	41社(18.4%)
1001～5000万円	94社(42.1%)
5001～9999万円	30社(13.5%)
1億円～	33社(14.8%)

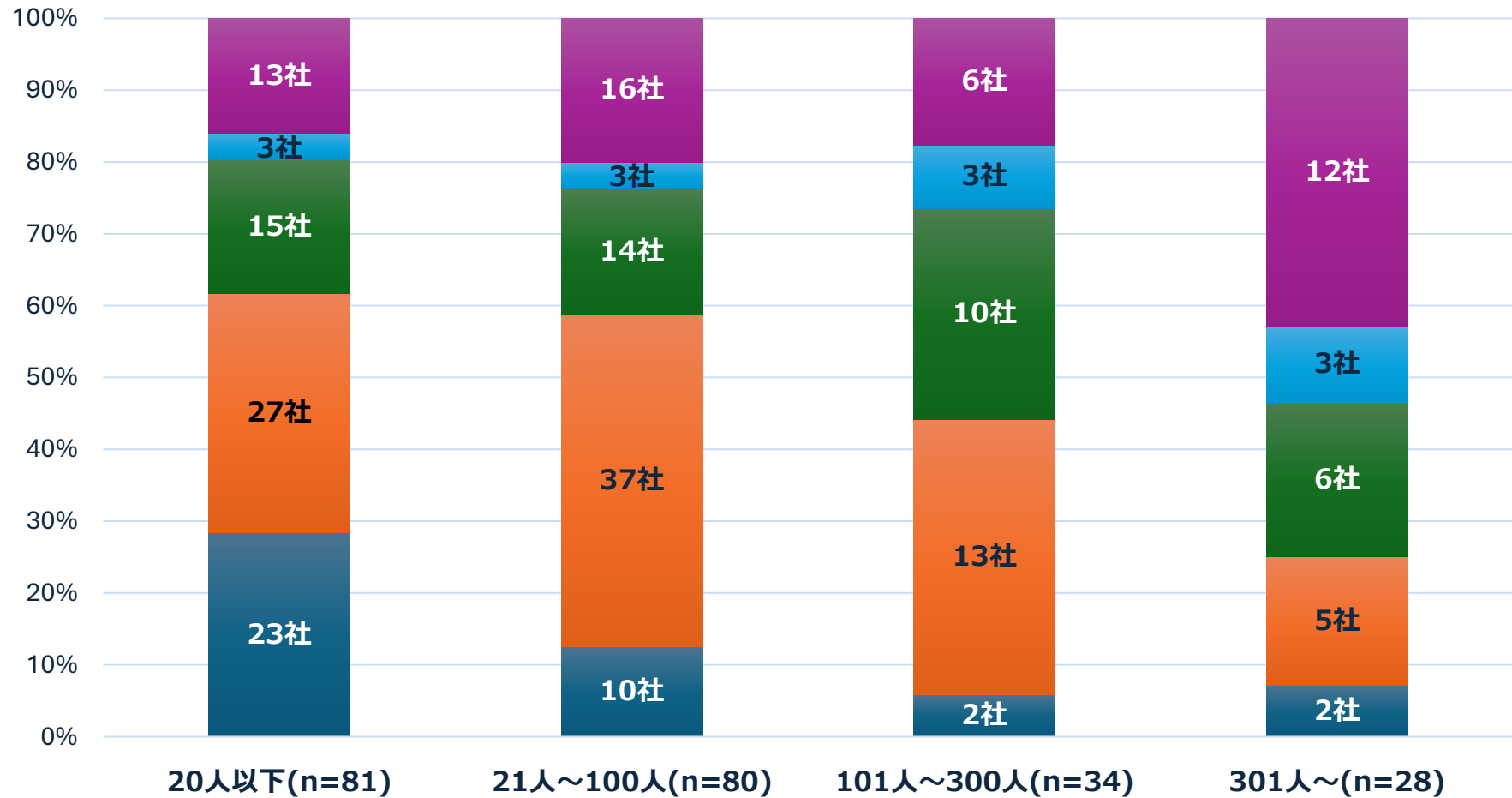
II DXに関する意識・取組状況等について

問1 貴社（または当部署）の考える「DX（デジタルトランスフォーメーション）」の定義として最も近いものをお選びください。



- ① IT・デジタル化（ペーパーレス）
- ② 生産性の向上や業務の効率化・自動化（RPAや生成AIの活用）
- ③ デジタル技術を活用して業務プロセスを変革すること
- ④ デジタル技術を活用してサービスやビジネスモデルそのものを革新すること
- ⑤ 上記すべてを含み、経営戦略・組織文化・働き方などを根本的に見直すこと

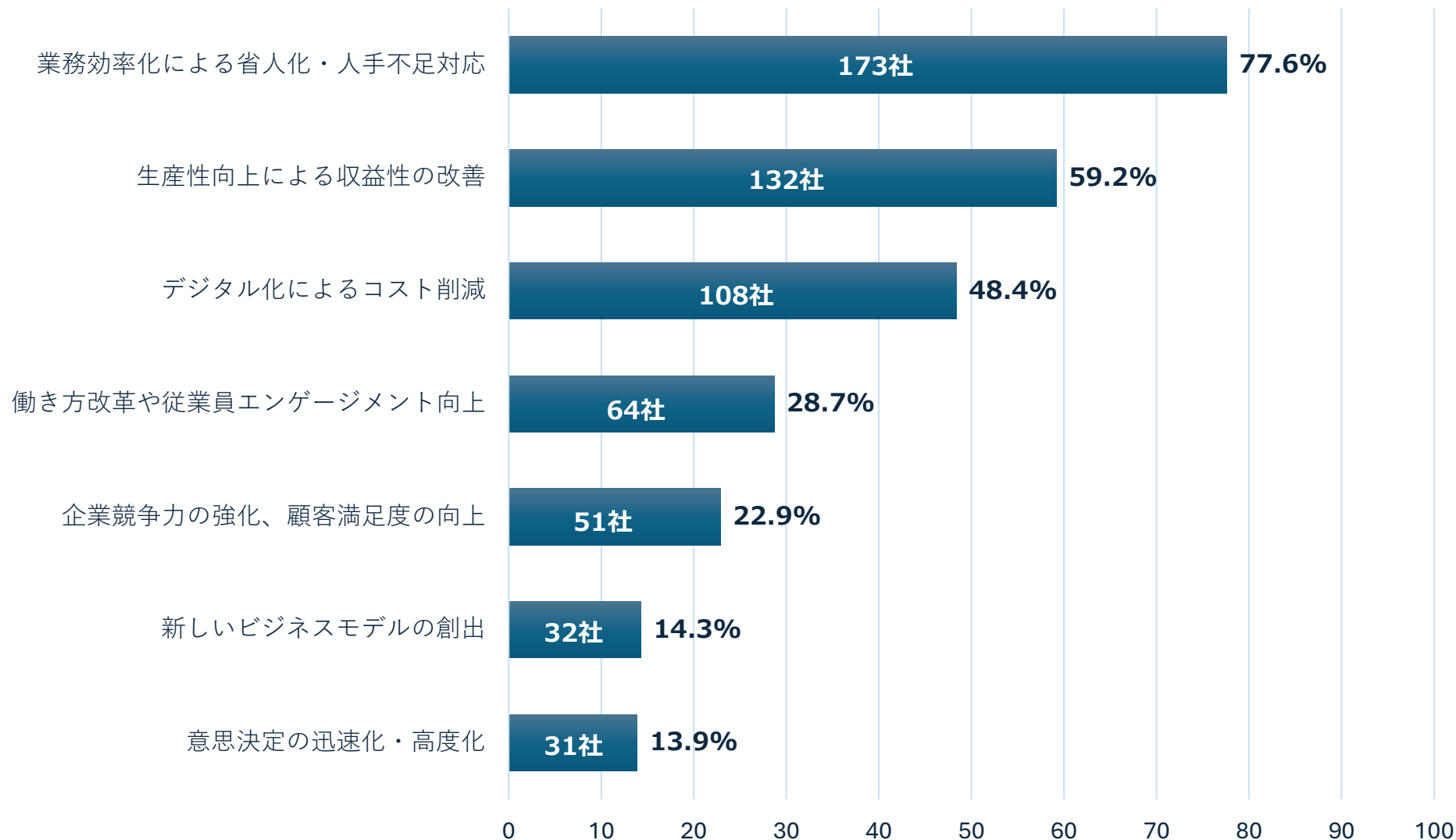
「従業員規模別」



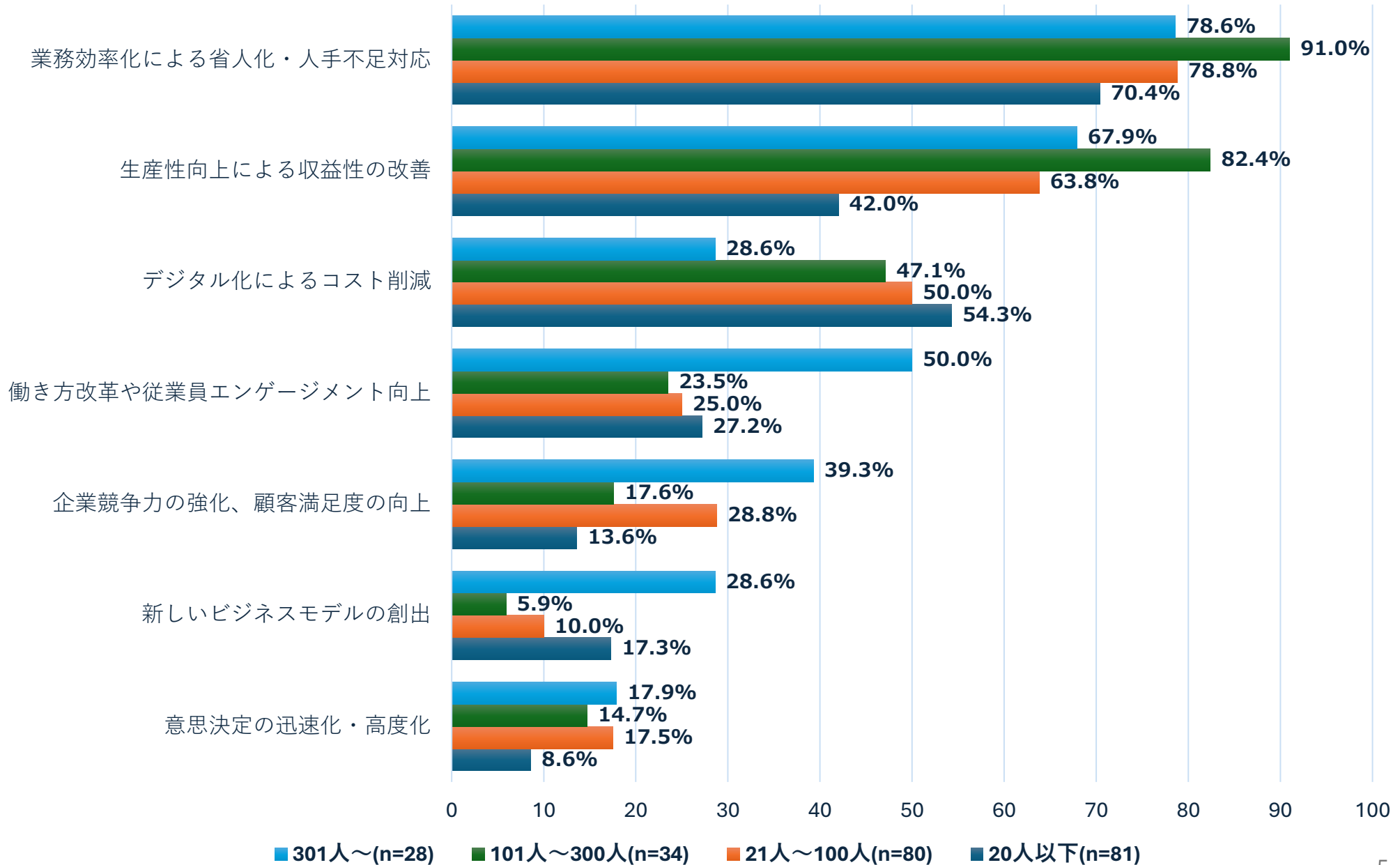
- ⑤ 上記すべてを含み、経営戦略・組織文化・働き方などを根本的に見直すこと
- ④ デジタル技術を活用してサービスやビジネスモデルそのものを革新すること
- ③ デジタル技術を活用して業務プロセスを変革すること
- ② 生産性の向上や業務の効率化・自動化（RPAや生成AIの活用）
- ① IT・デジタル化（ペーパーレス）

問2 貴社（または当部署）において、DXによってどのような成果を実現したいと考えていますか。重視するものを3つまでお選びください。

回答者数(n=223)



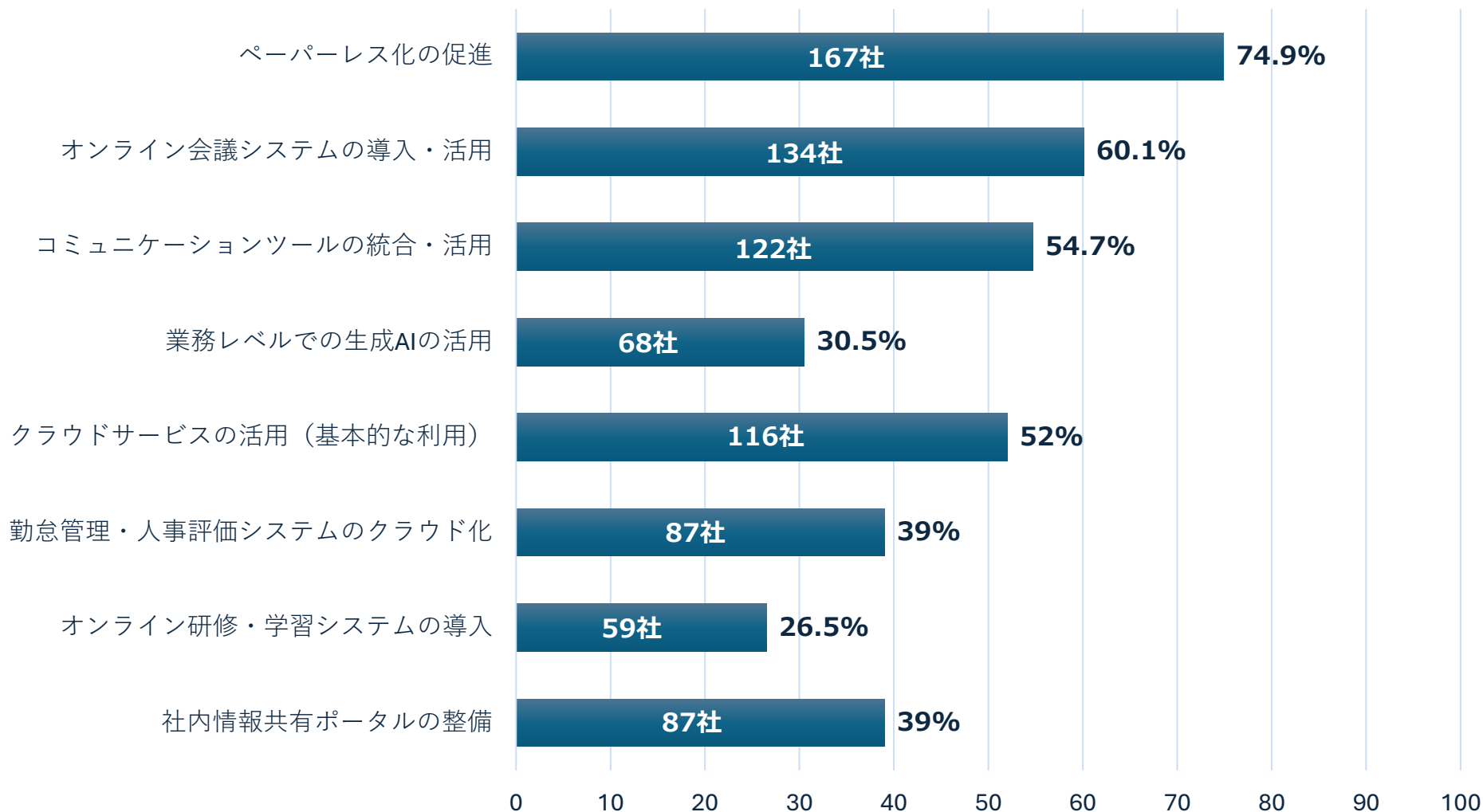
「従業員規模別」



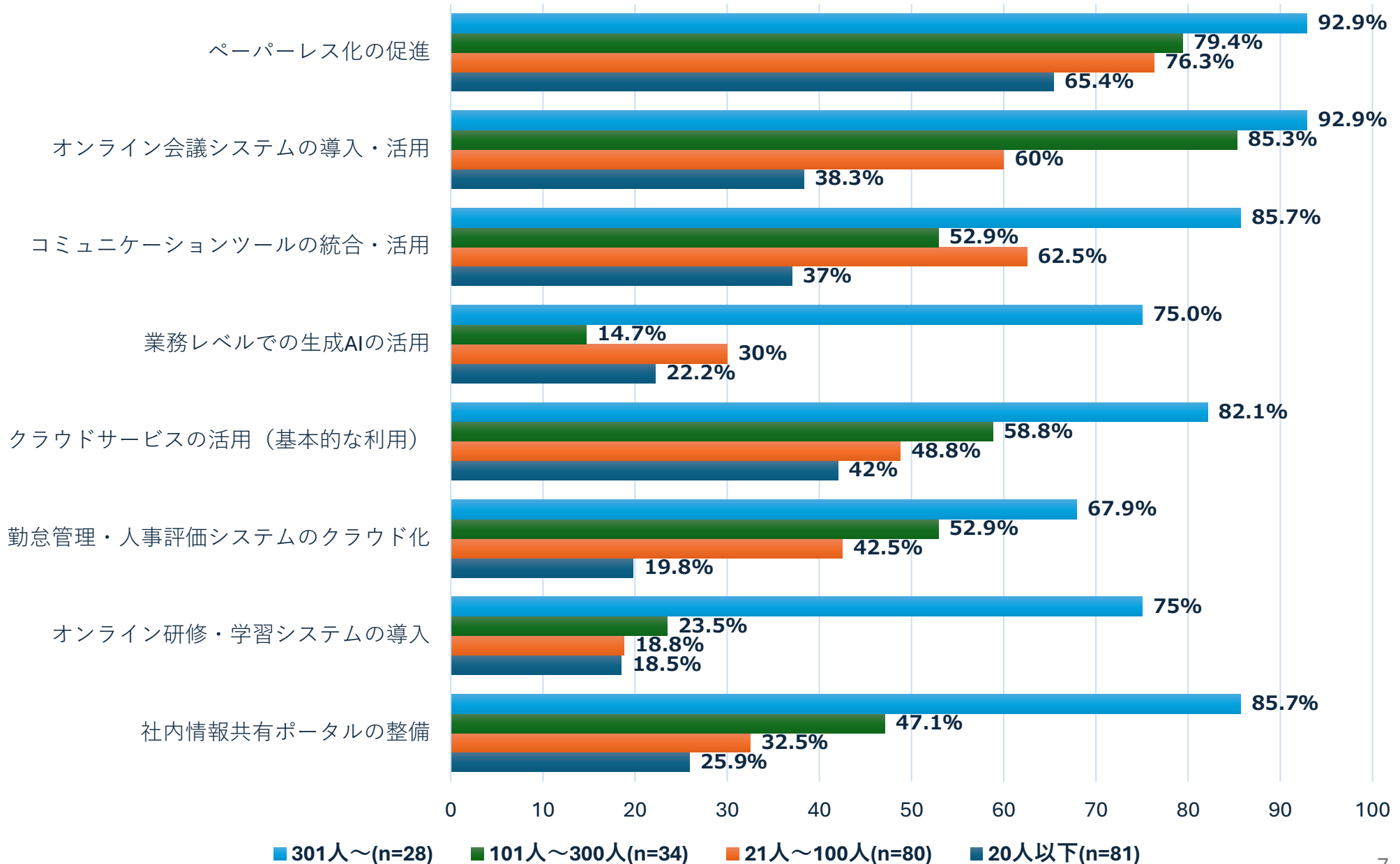
問3 貴社（または当部署）で実施しているDXの取組みについて該当するものを全てお選びください。（現在進行中の取組みや部分的に導入しているものも対象とする）

【1】業務のデジタル化に向けた環境整備

回答者数(n=223)

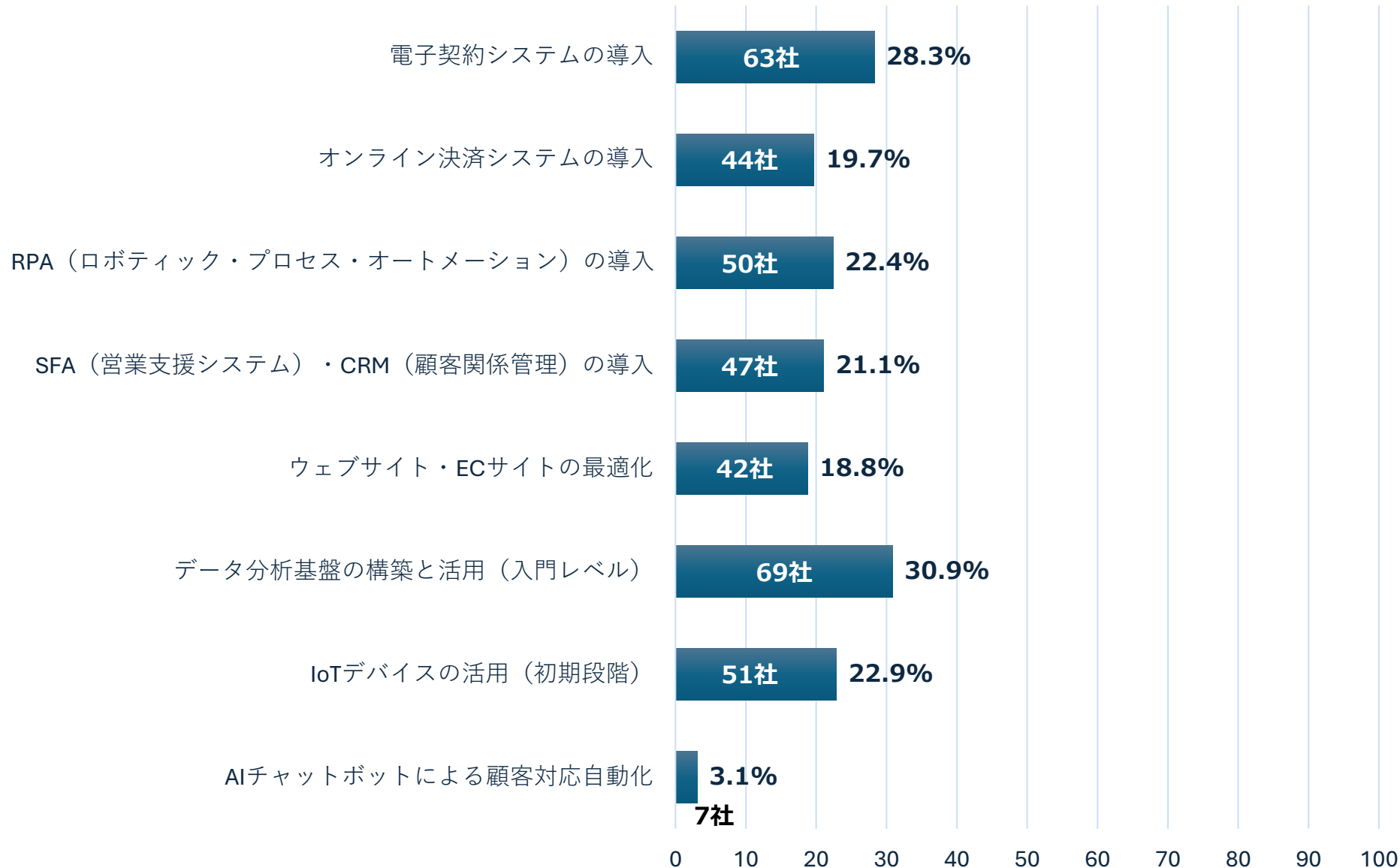


《従業員規模別》

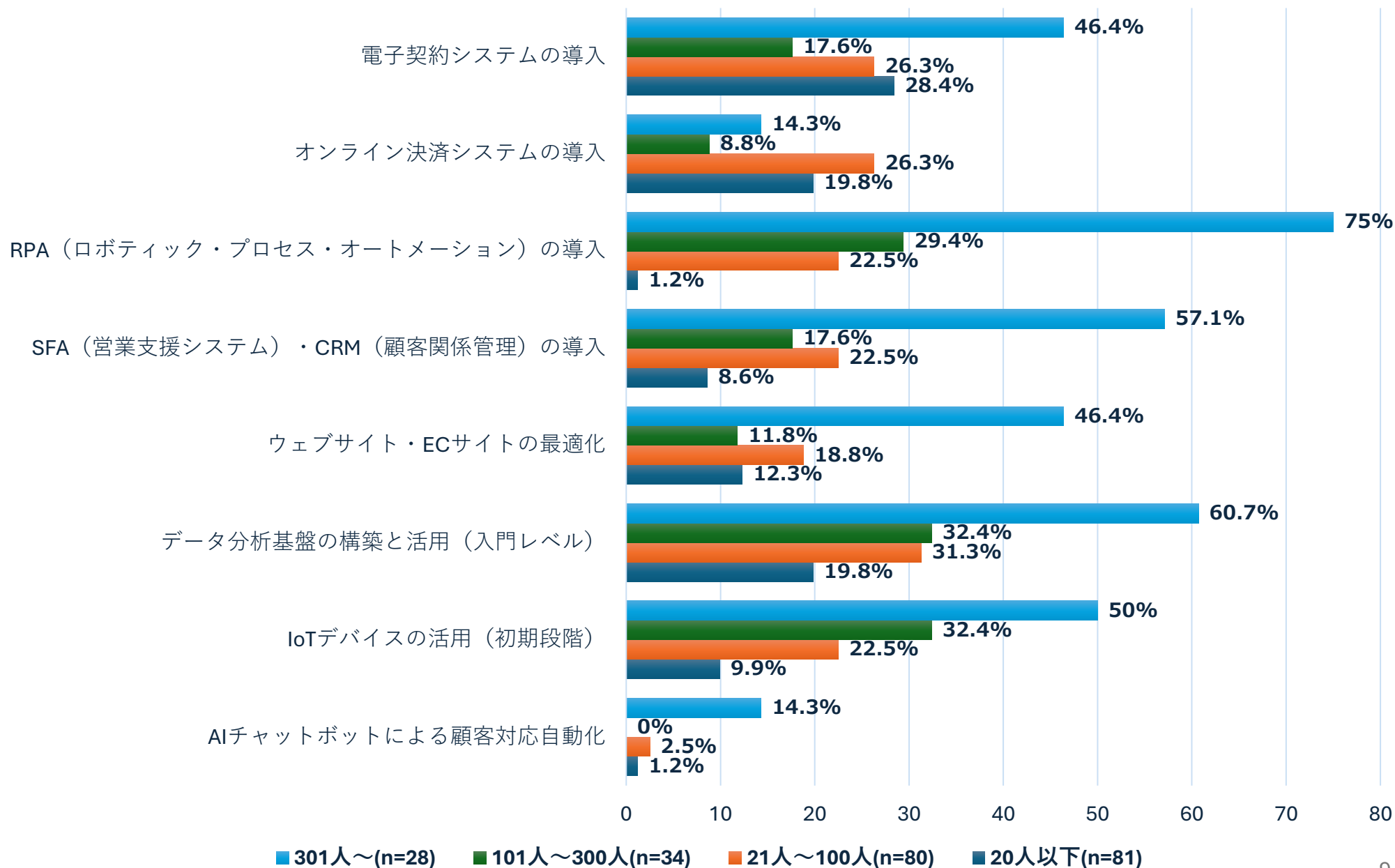


【2】業務プロセスのデジタル化・自動化

回答者数(n=223)

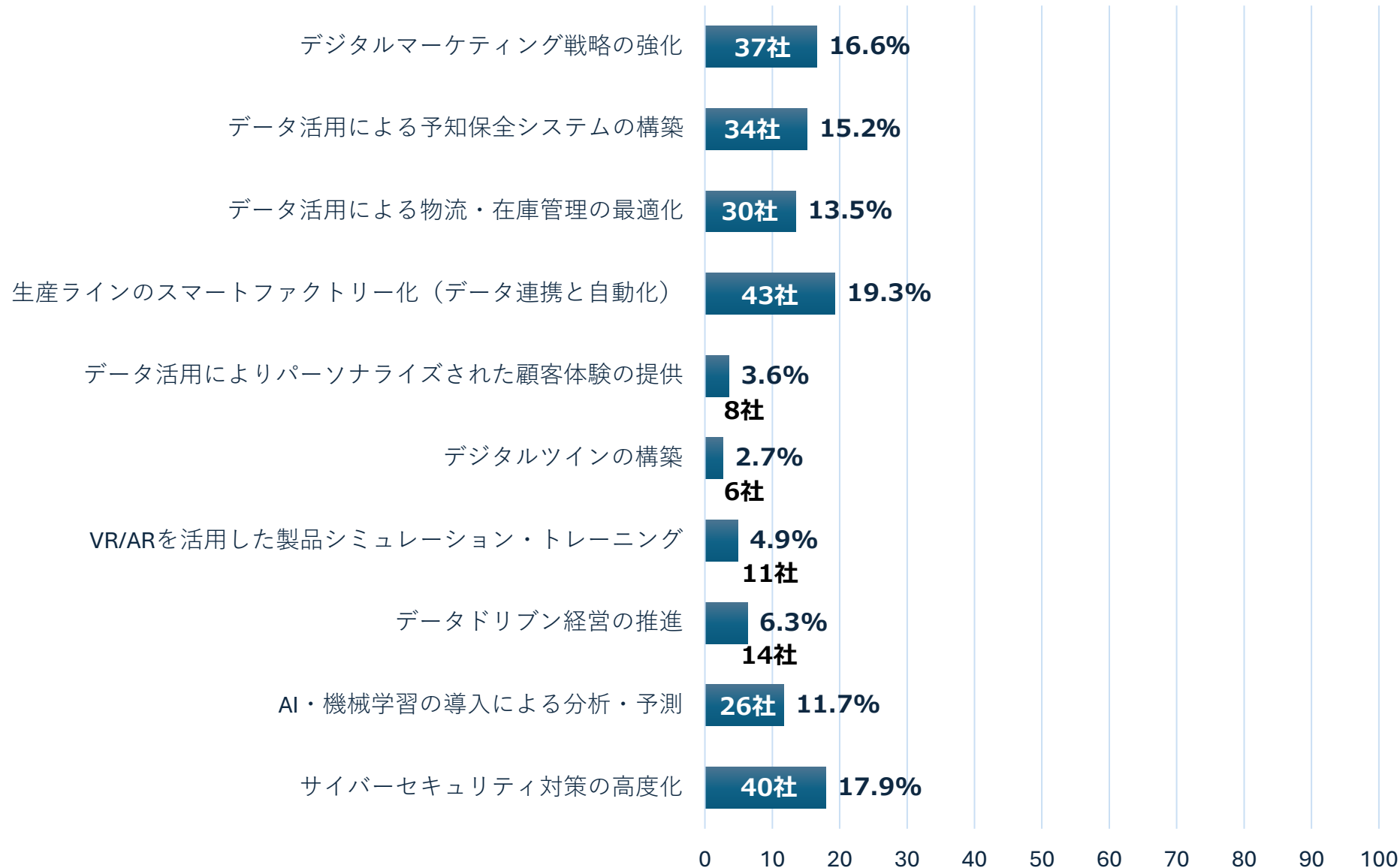


「従業員規模別」

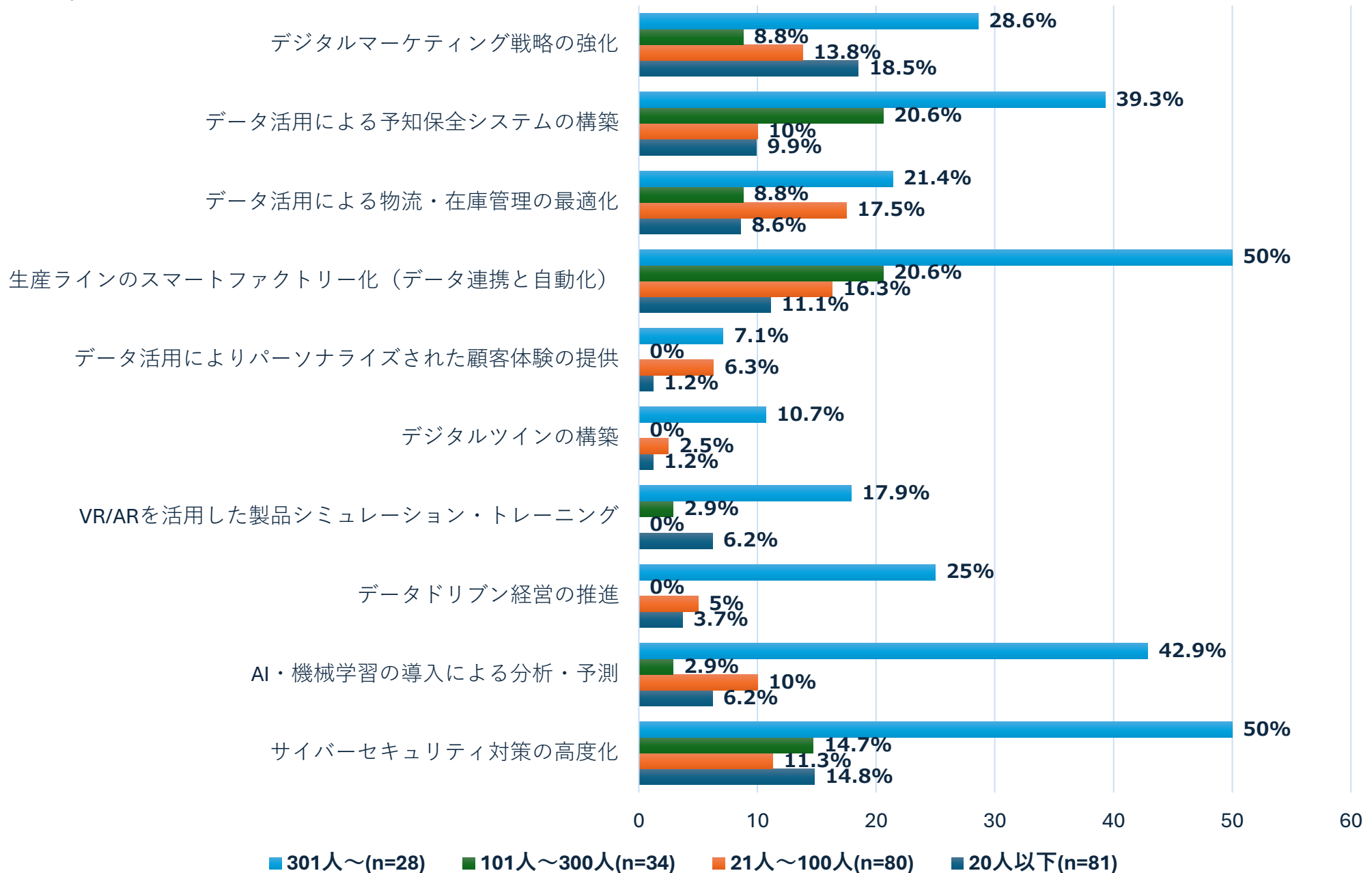


【3】デジタル技術を活用した業務やビジネスモデルの最適化

回答者数(n=223)

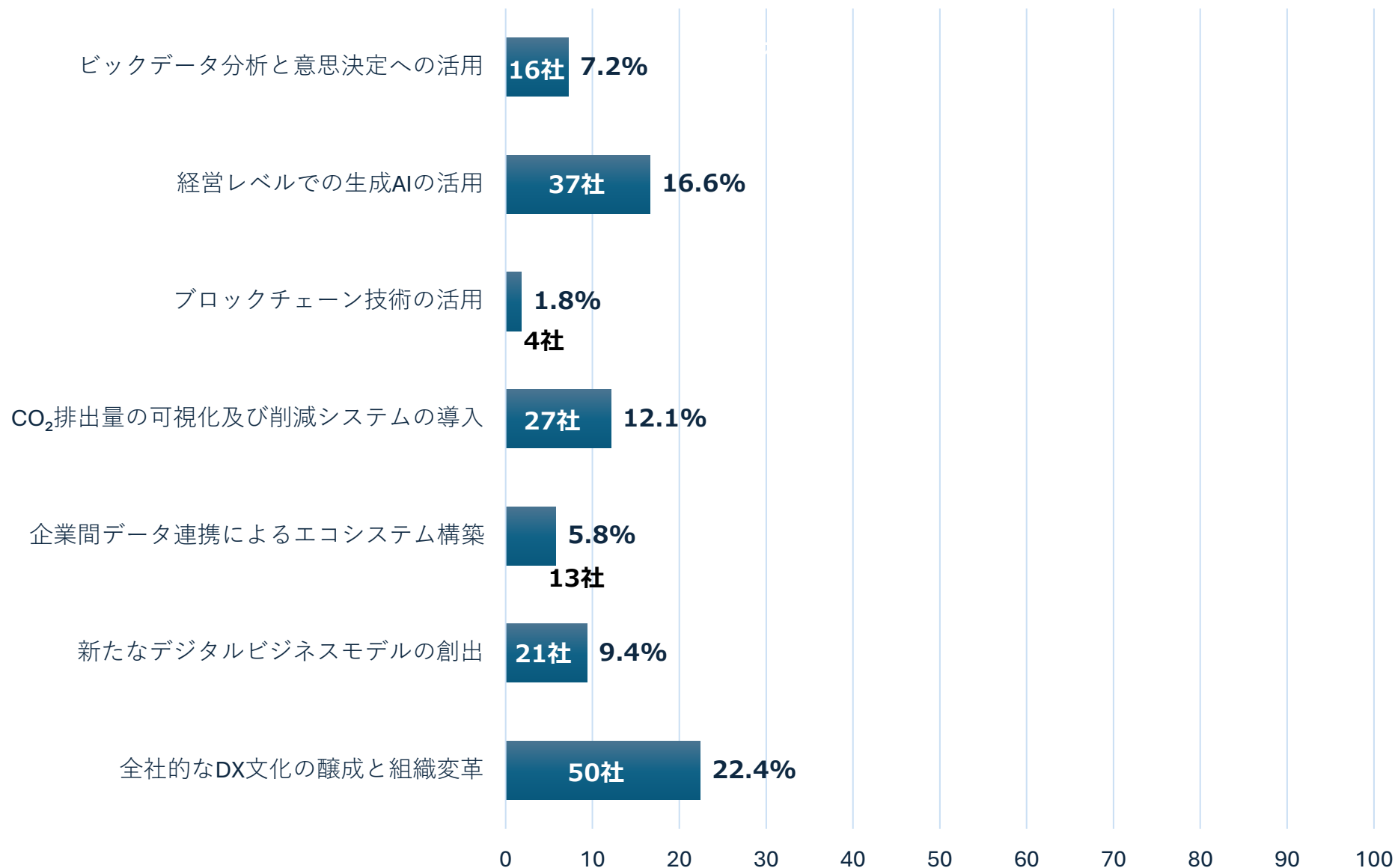


《従業員規模別》

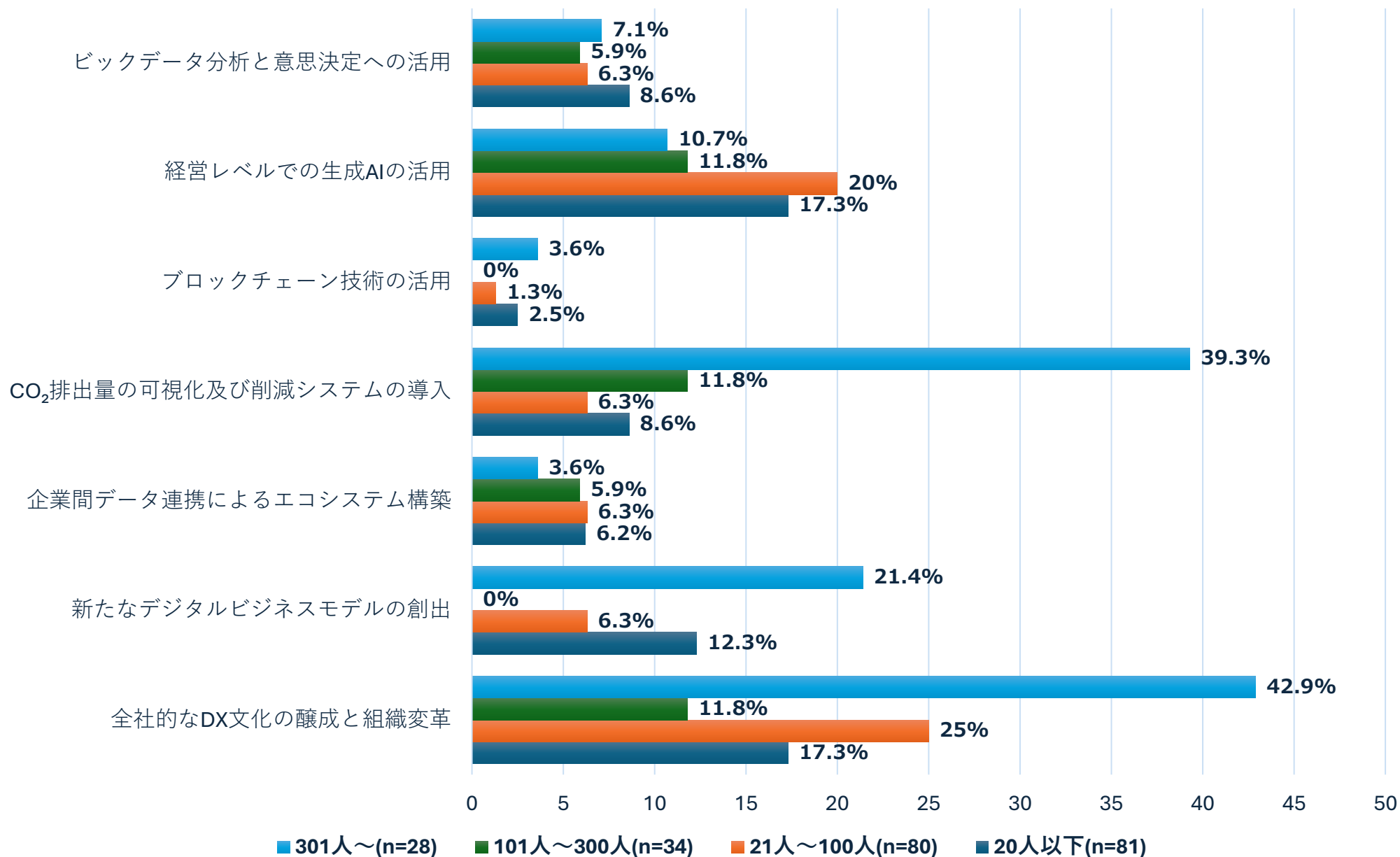


【4】デジタル技術を活用したビジネス変革・価値創造

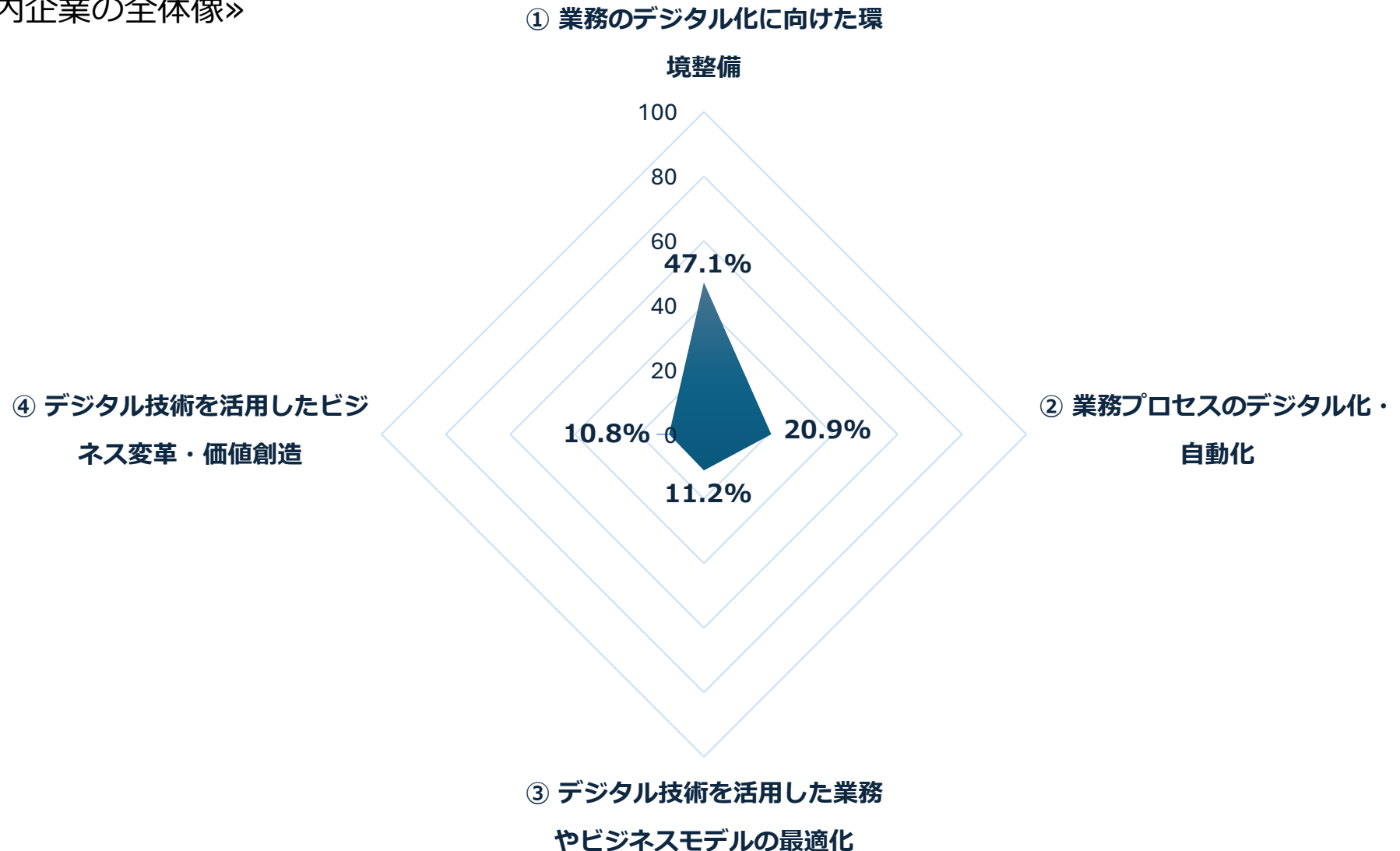
回答者数(n=223)



《従業員規模別》

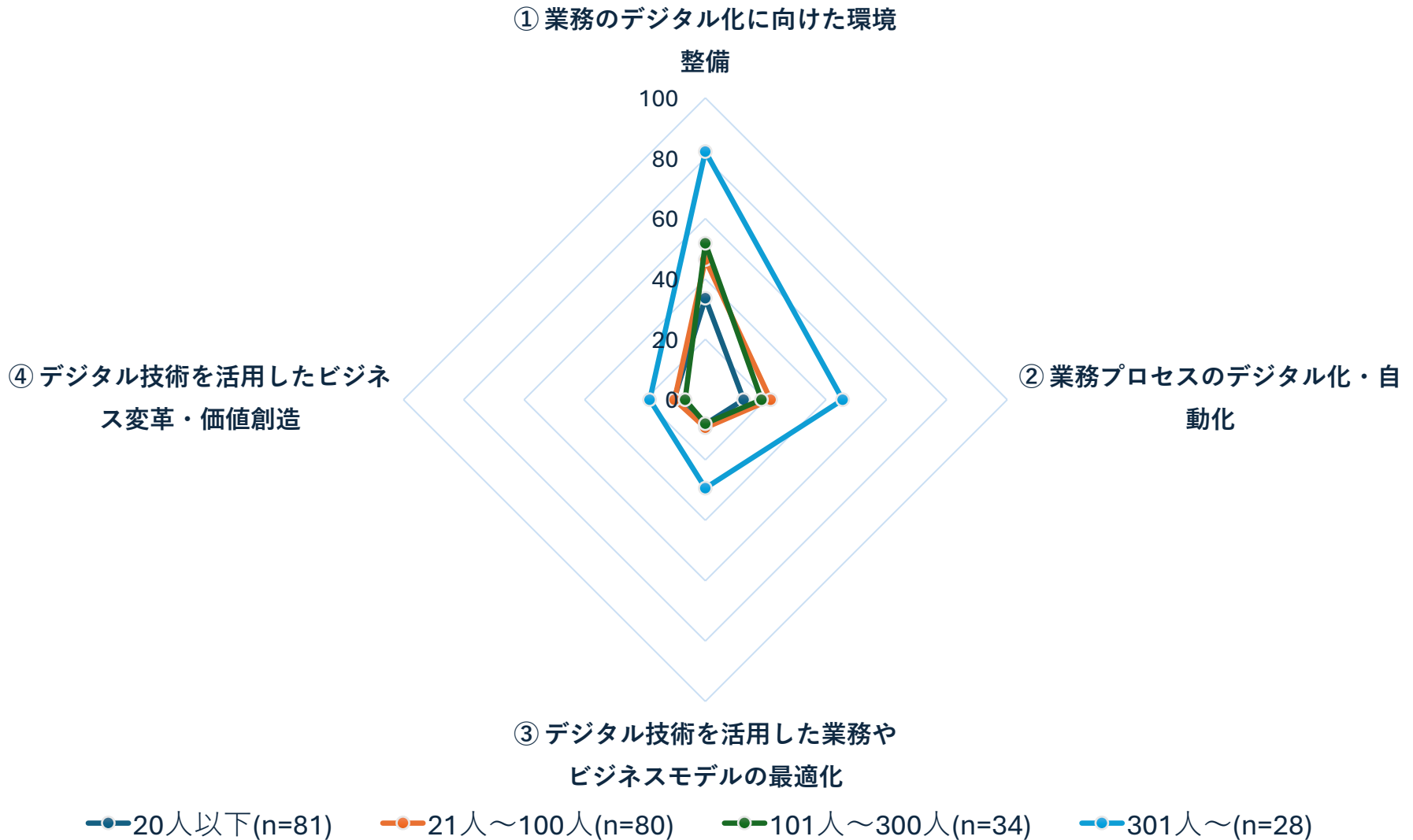


《県内企業の全体像》



- ・ 県内企業のDXは『①環境整備』は進んでいるが、そこから先の『②自動化』『③最適化』へと進むにつれて急激に実践率が低下している。
特に『④価値創造』への取組みはまだ黎明期にある。

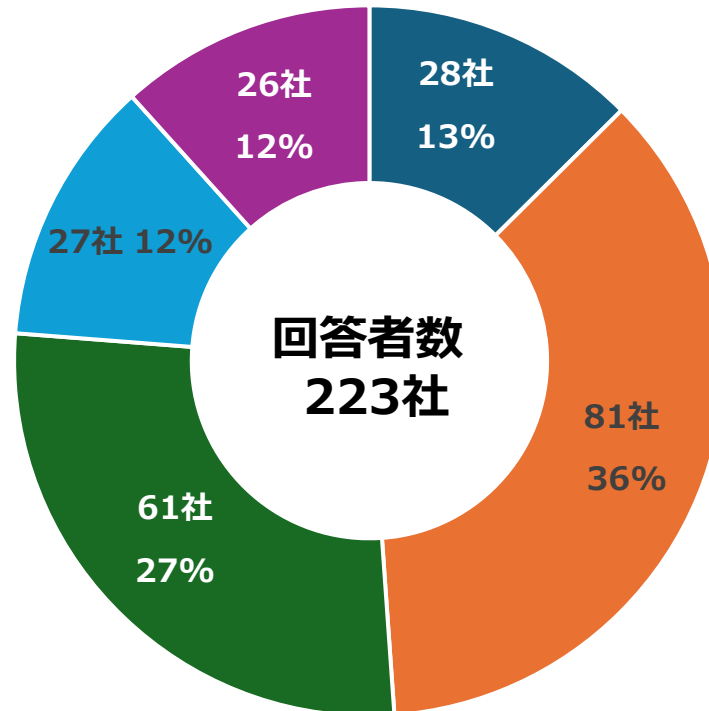
《従業員規模別》



- ・ **企業規模が大きいほど、より高度な段階へ進んでいる**傾向が明確である。
特に『②自動化』から『③最適化』へのステップで、小規模企業と大規模企業の間に大きな差（DXギャップ）が生じている。

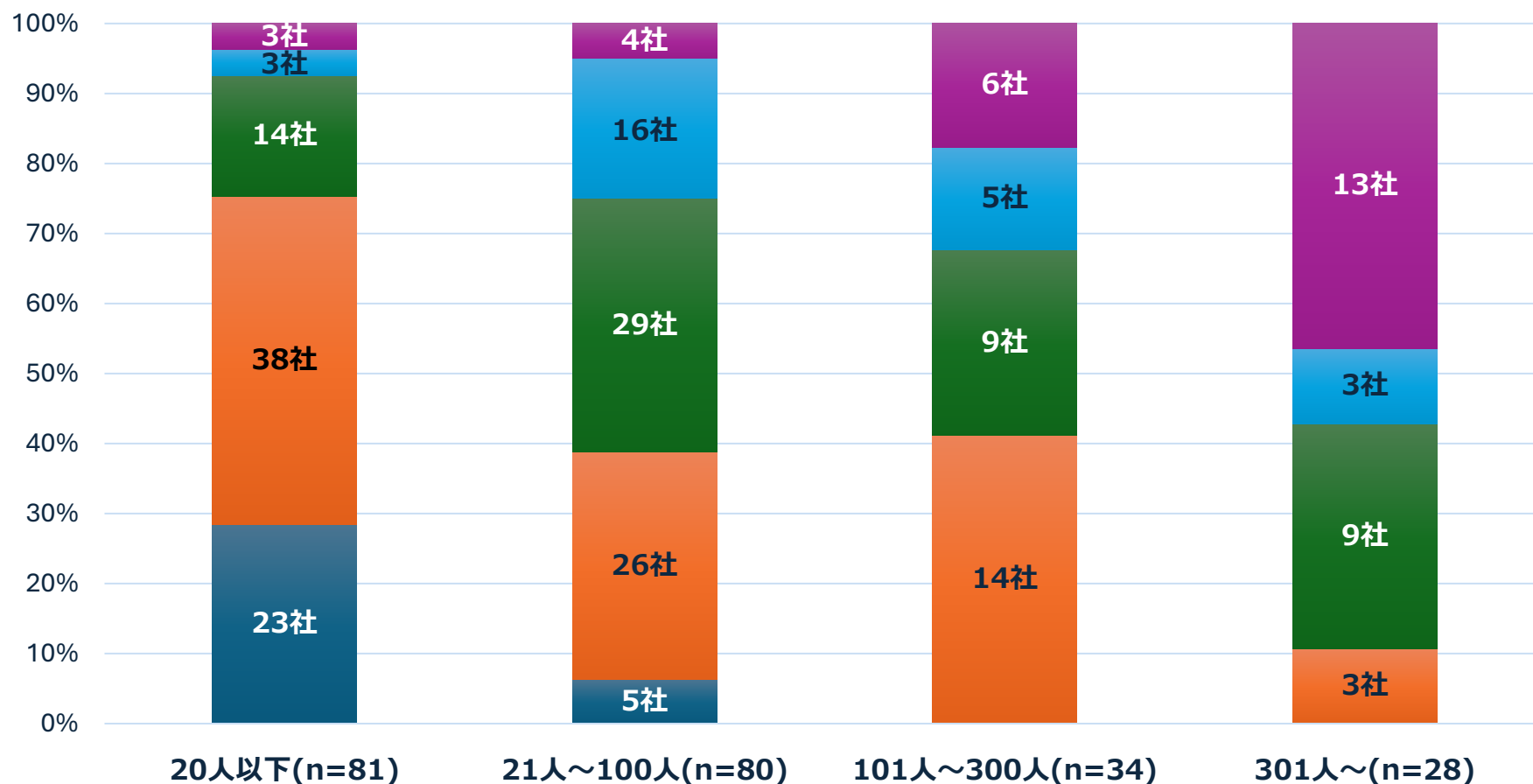
Ⅲ 今後の取組方針について

問1 貴社内（または当部署）で、今後取り組もうとしているDX関連の活動について、最も近いものをお選びください。



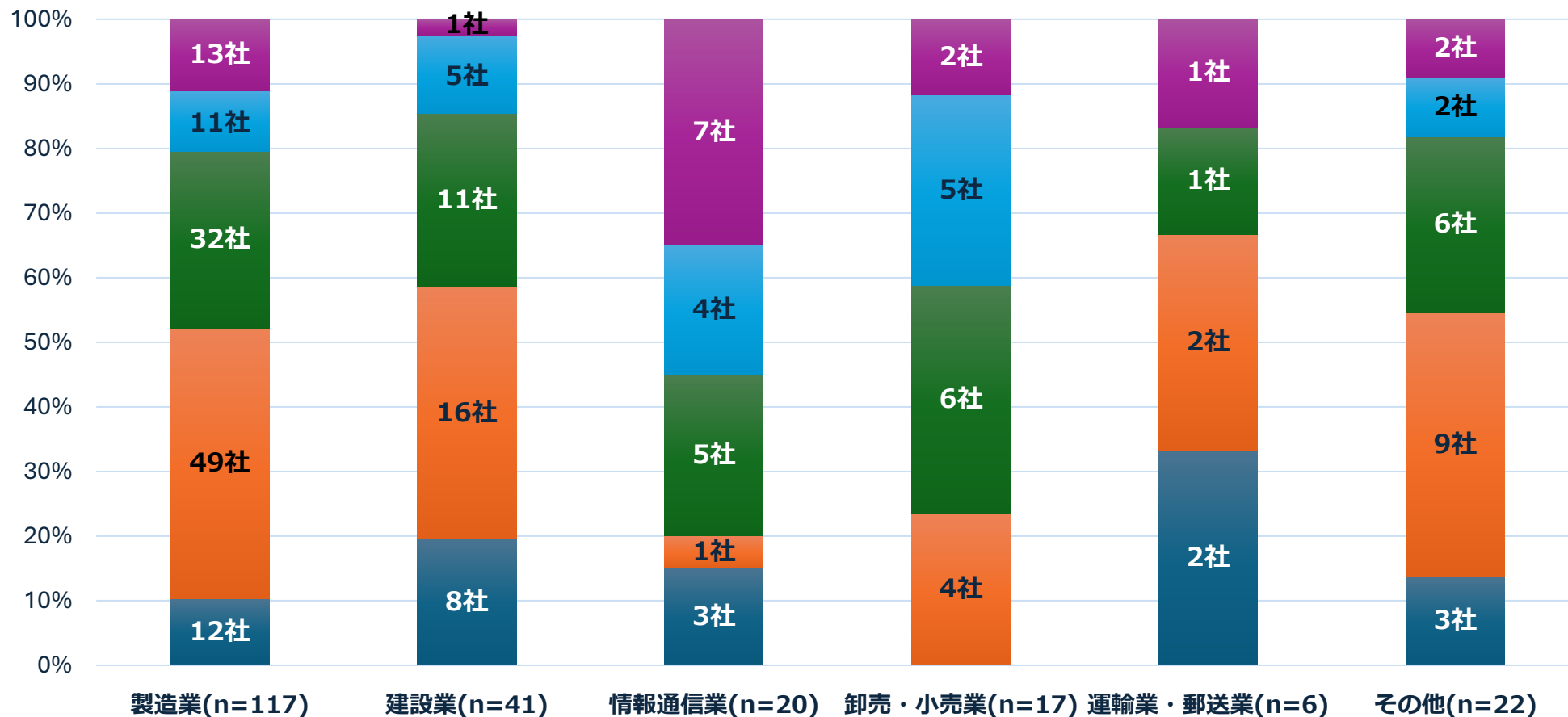
- ① 特に取り組む予定はない
- ② 課題意識はあるが、まだ取り組めていない
- ③ 一部業務や部署での実証・試行を始める予定
- ④ 部署全体での本格的なDX推進を予定している
- ⑤ 組織戦略に沿って、継続的・全社的にDXを推進する体制を構築済み、もしくは構築予定

「従業員規模別」



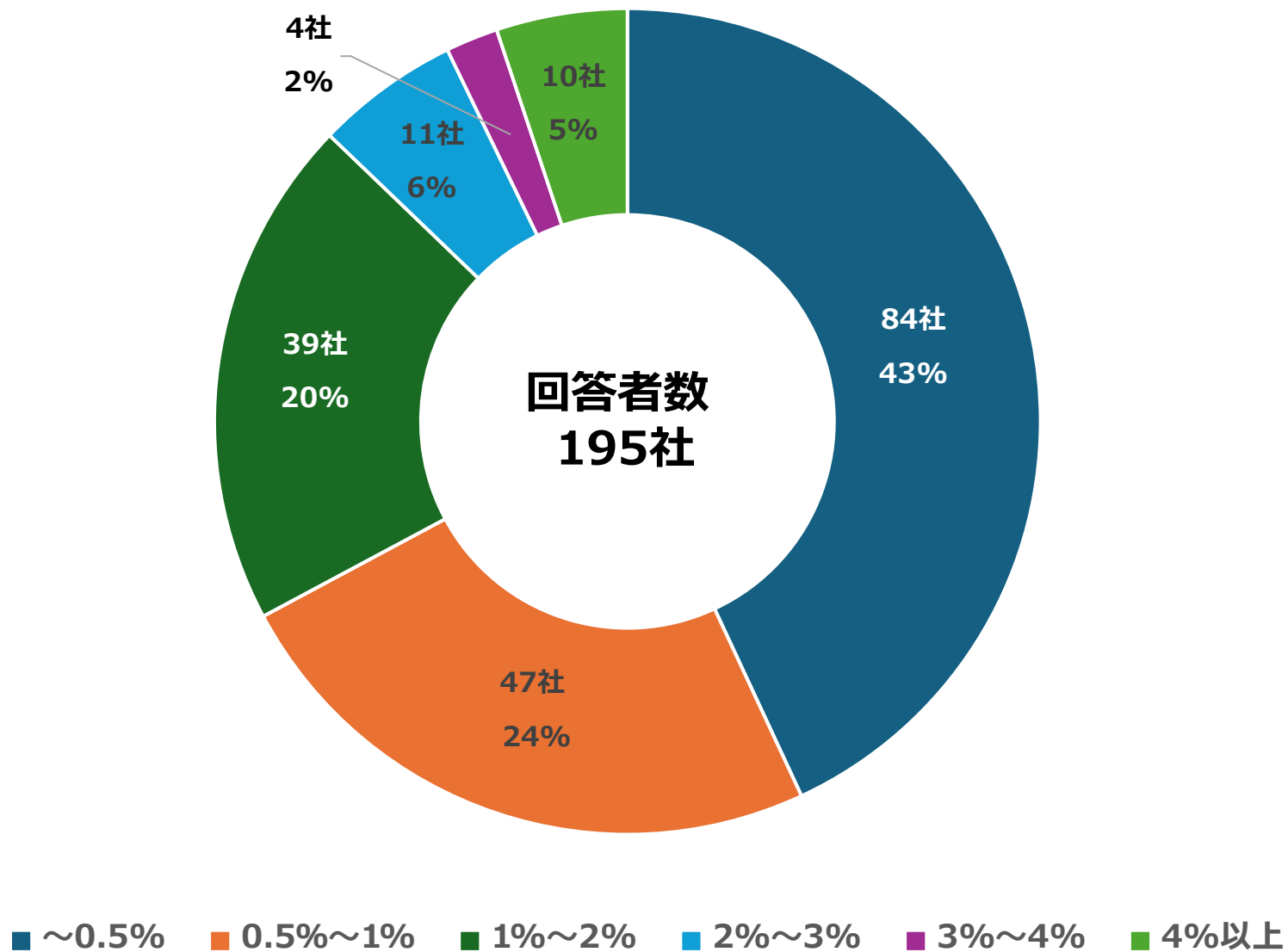
- ⑤ 組織戦略に沿って、継続的・全社的にDXを推進する体制を構築済み、もしくは構築予定
- ④ 部署全体での本格的なDX推進を予定している
- ③ 一部業務や部署での実証・試行を始める予定
- ② 課題意識はあるが、まだ取り組めていない
- ① 特に取り組む予定はない

《業種別》

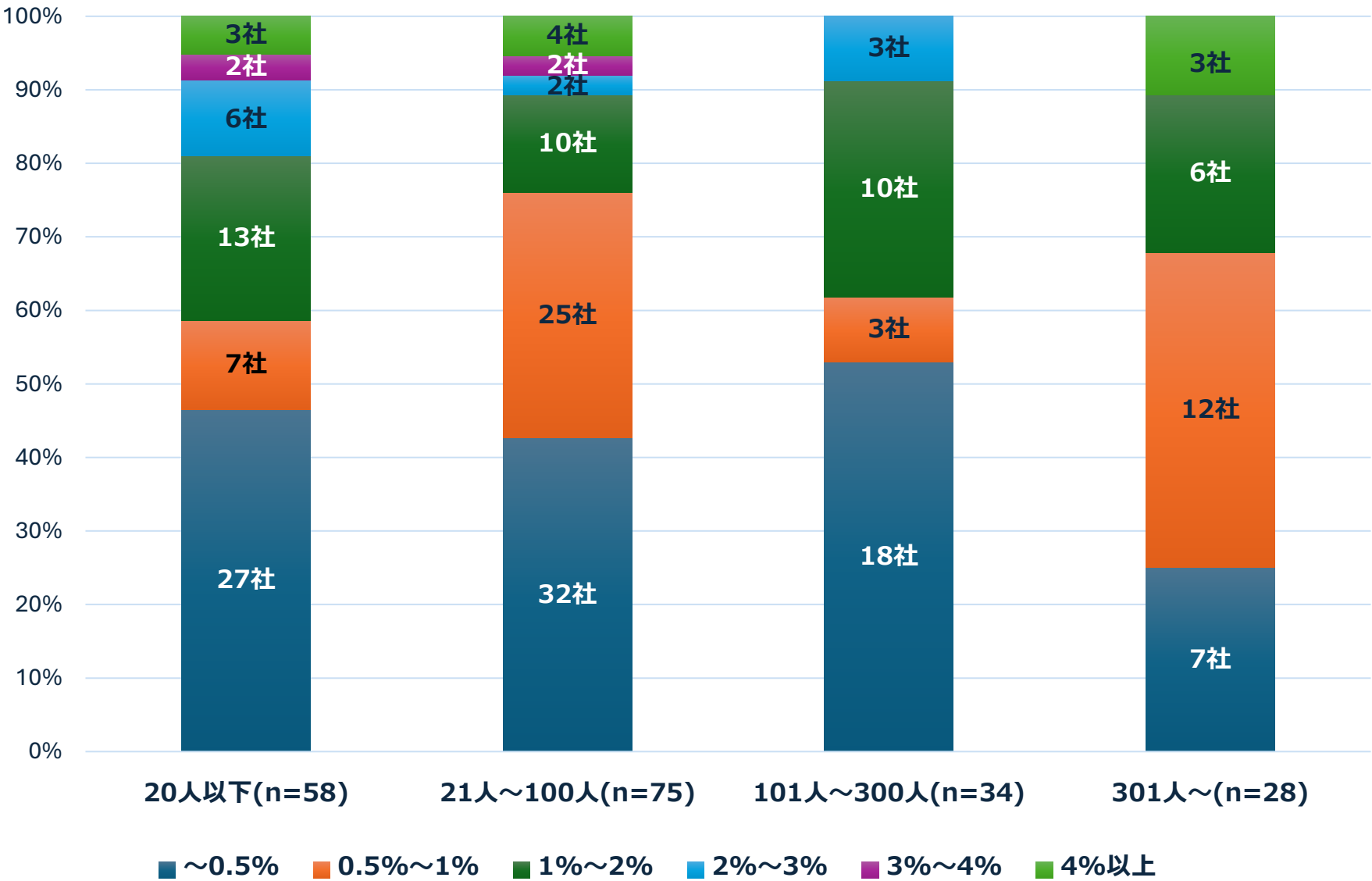


- ⑤ 組織戦略に沿って、継続的・全社的にDXを推進する体制を構築済み、もしくは構築予定
- ④ 部署全体での本格的なDX推進を予定している
- ③ 一部業務や部署での実証・試行を始める予定
- ② 課題意識はあるが、まだ取り組めていない
- ① 特に取り組む予定はない

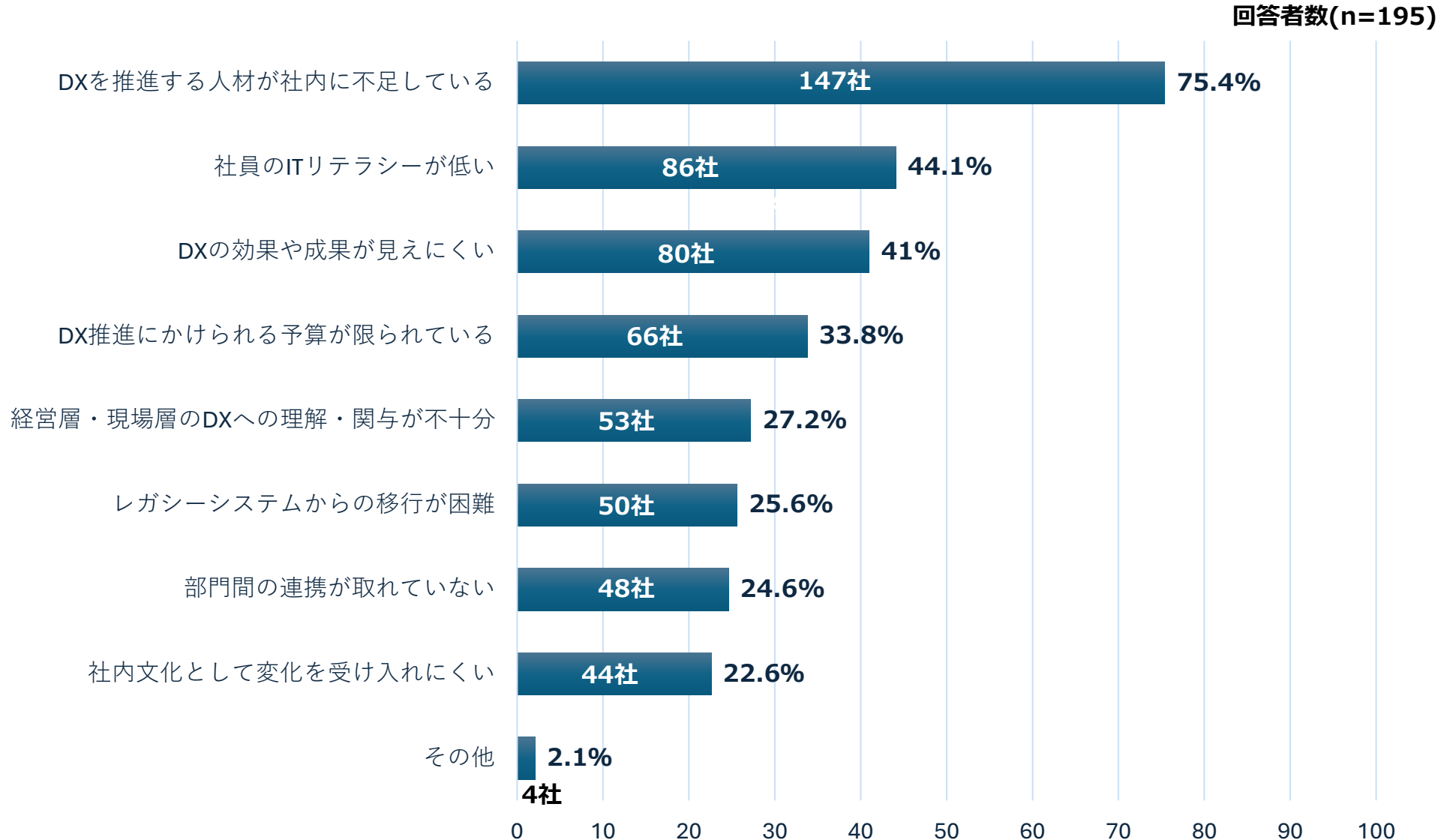
問2 貴社の年間売上に対して、DXやIT関連（保守・更新費用含む）への予算は、おおよそどの程度の割合を見込んでいますか。



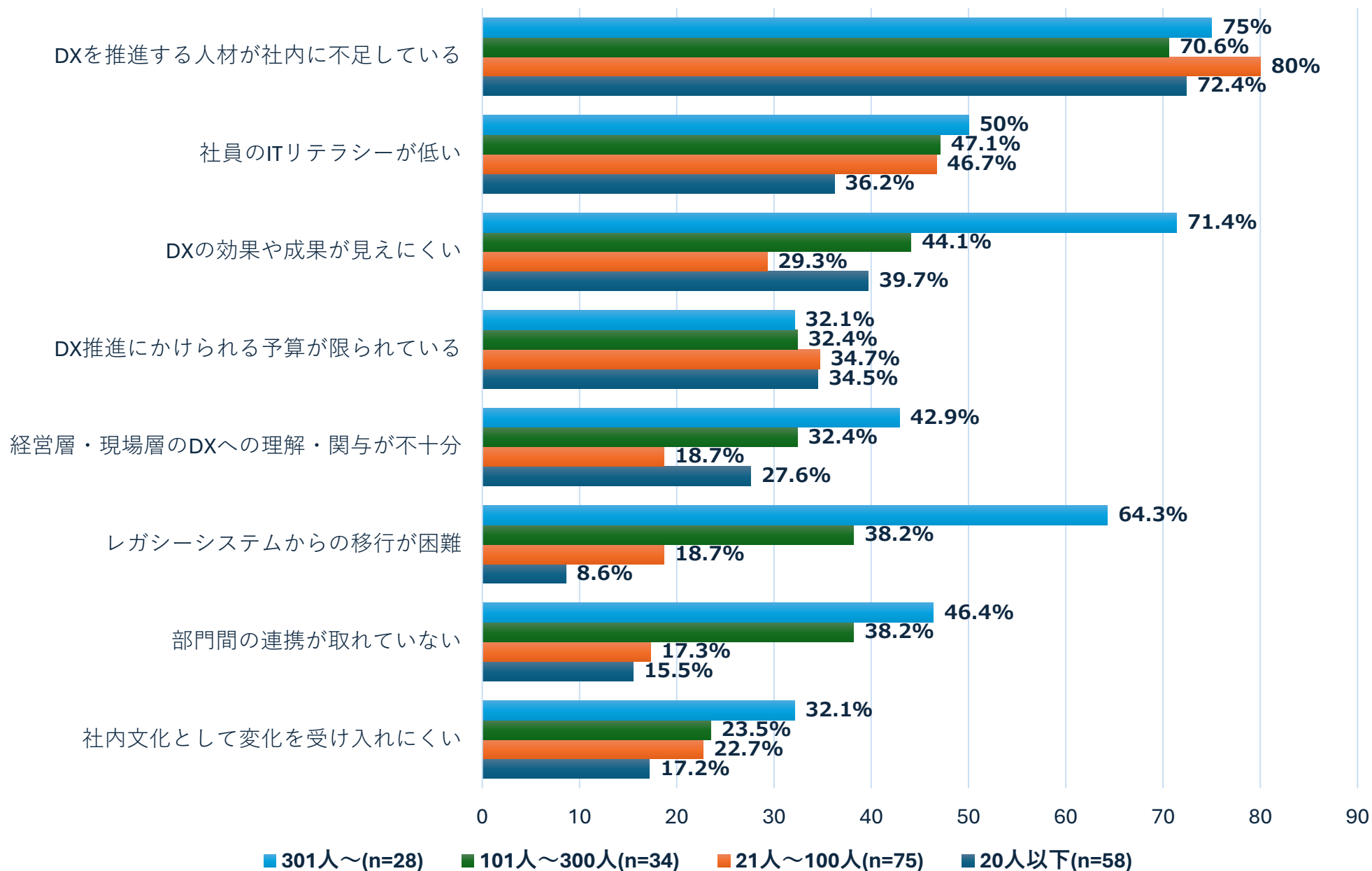
《従業員規模別》



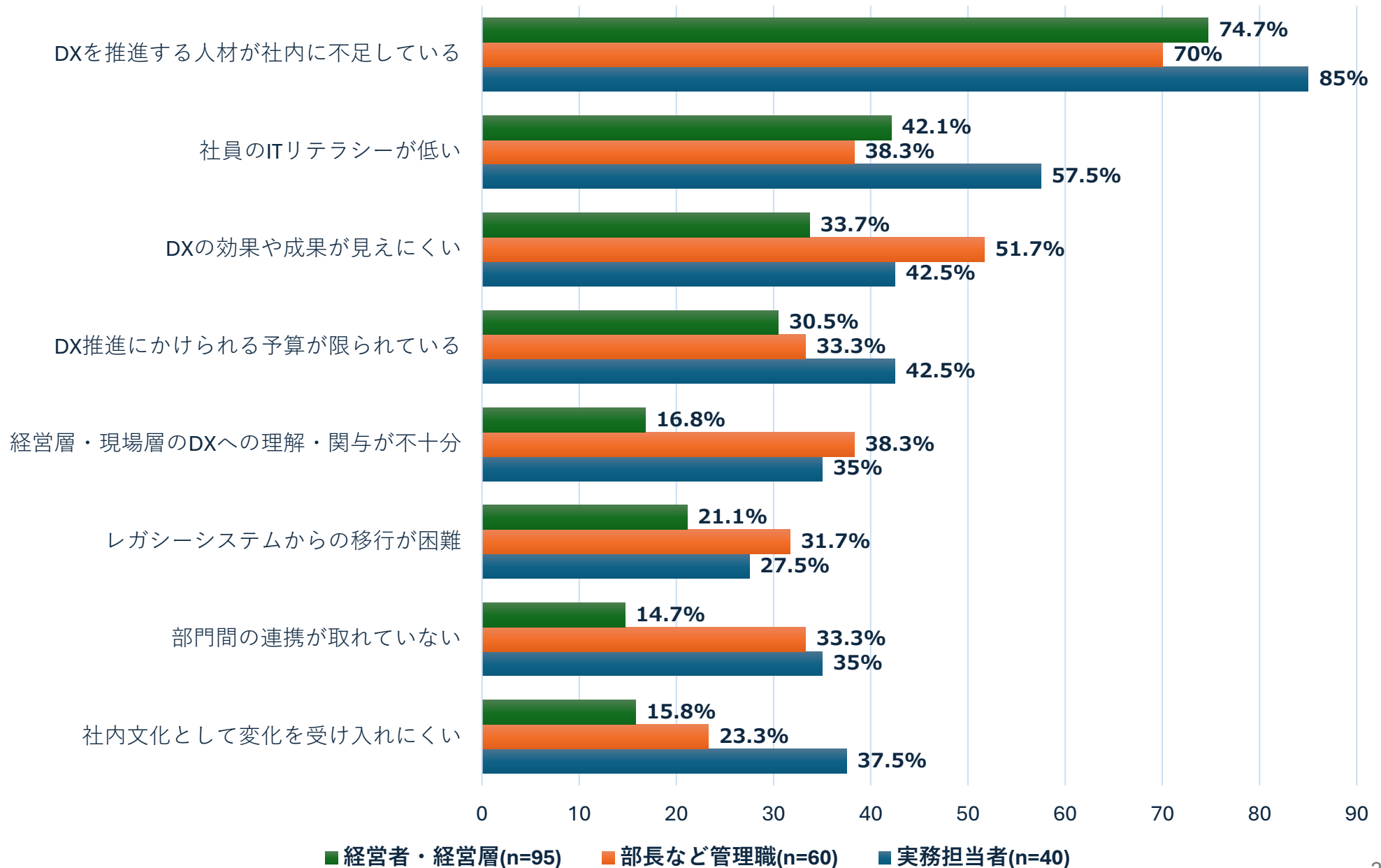
問3 貴社（または当部署）がDXを推進する上で、現在課題と感じていることを全てお選びください。



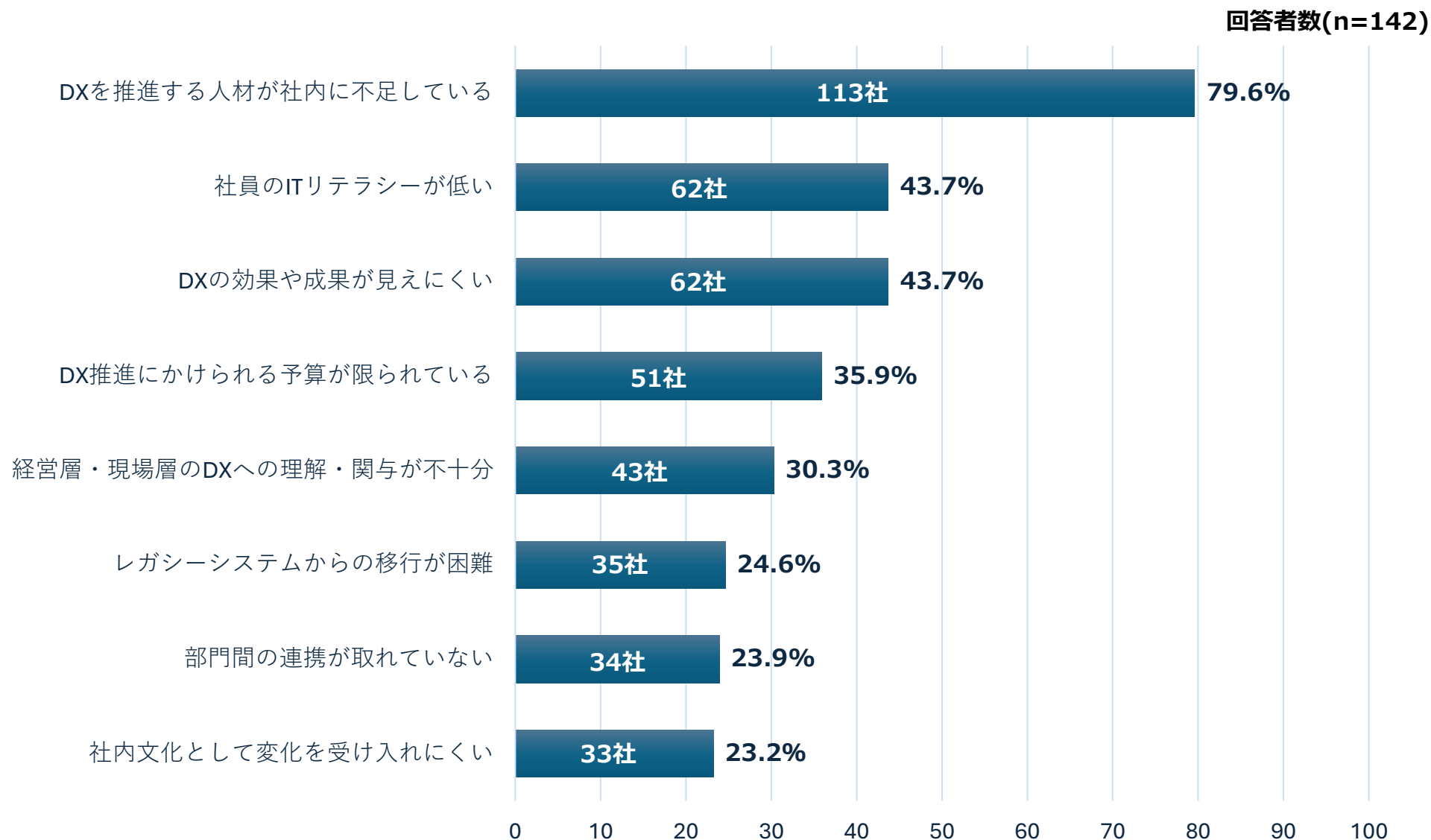
「従業員規模別」



《階層別》

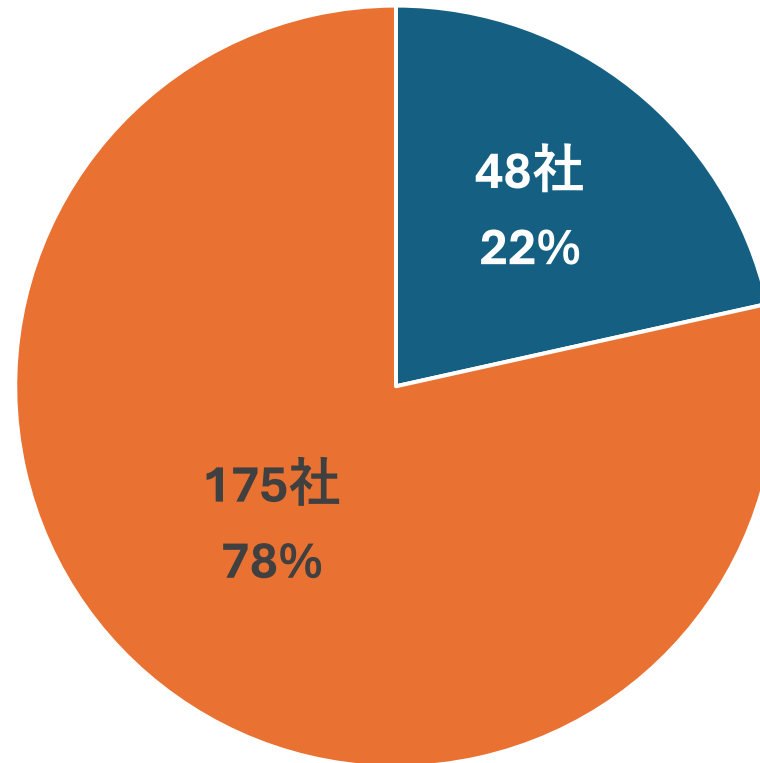


«DX未着手企業（「課題意識はあるが、まだ取り組めていない」と回答した企業）及びDX途上企業（「一部業務や部署での実証・試行を始める予定」と回答した企業）の回答»



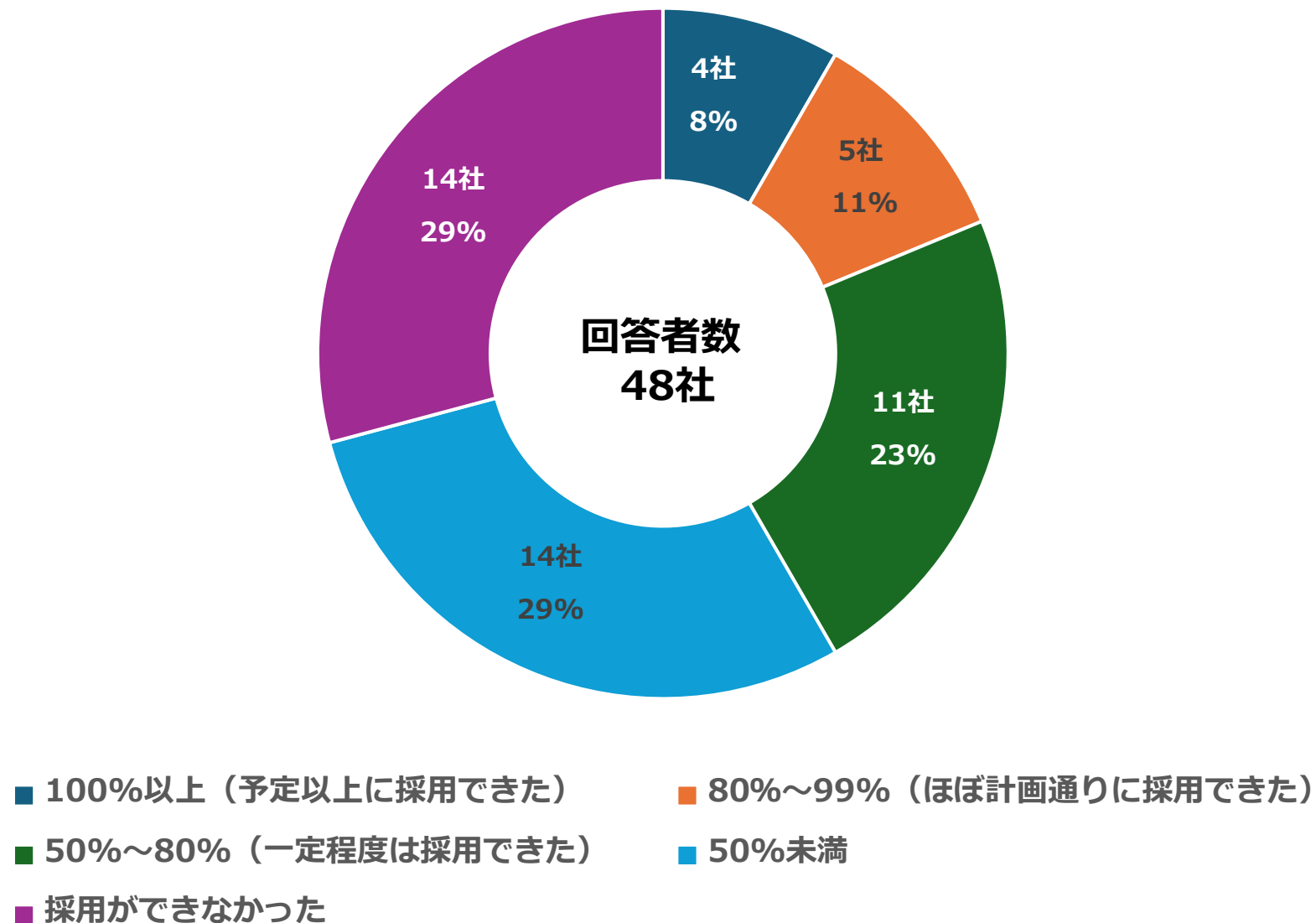
Ⅳ デジタル人材の採用・育成状況について

問1 貴社（または当部署）では、現在デジタル人材の採用を行っていますか。

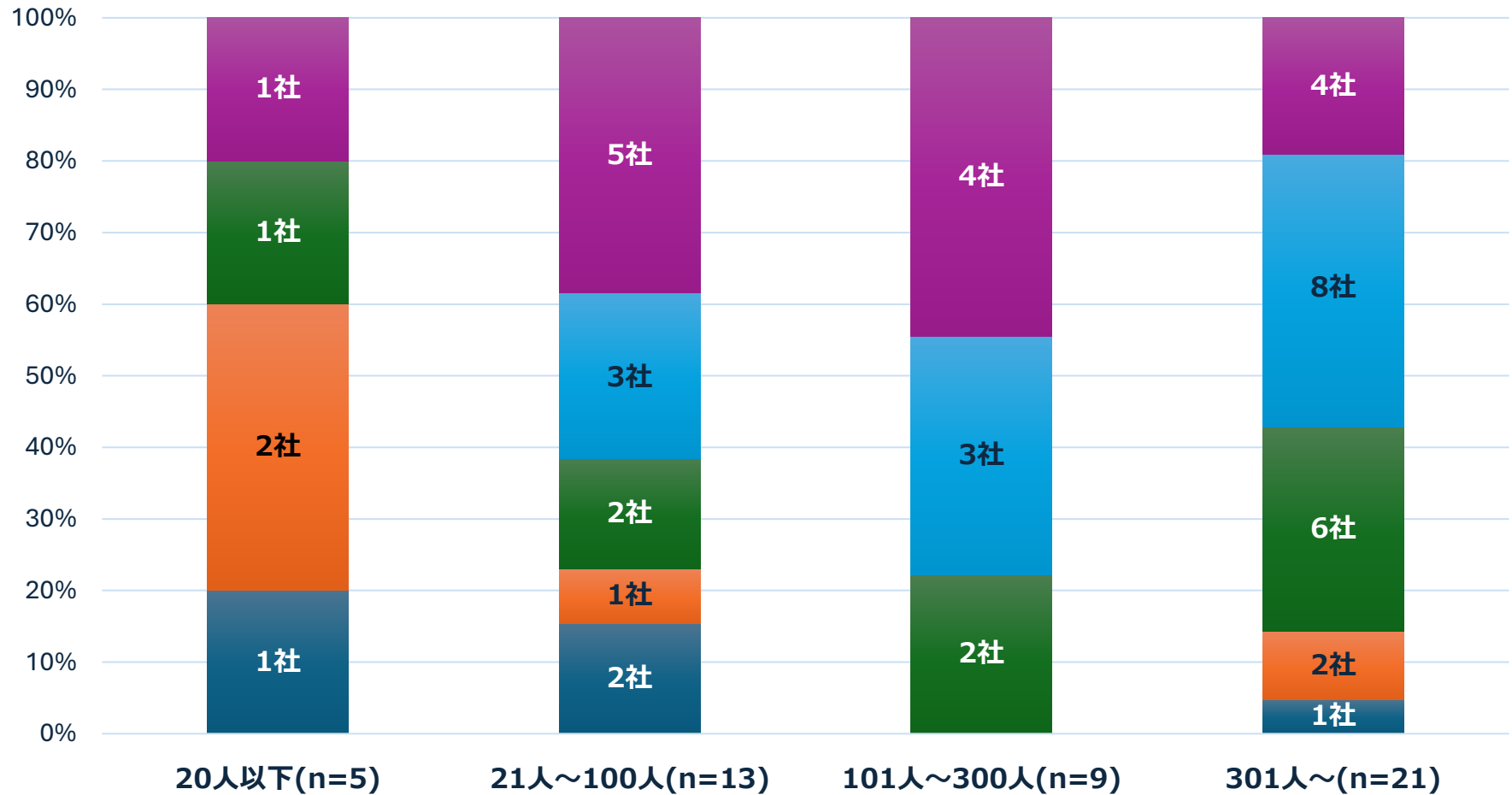


■ はい ■ いいえ

問2 直近1年間に於いて、貴社（または当部署）が必要としていたデジタル人材の採用は、どの程度充足できましたか。



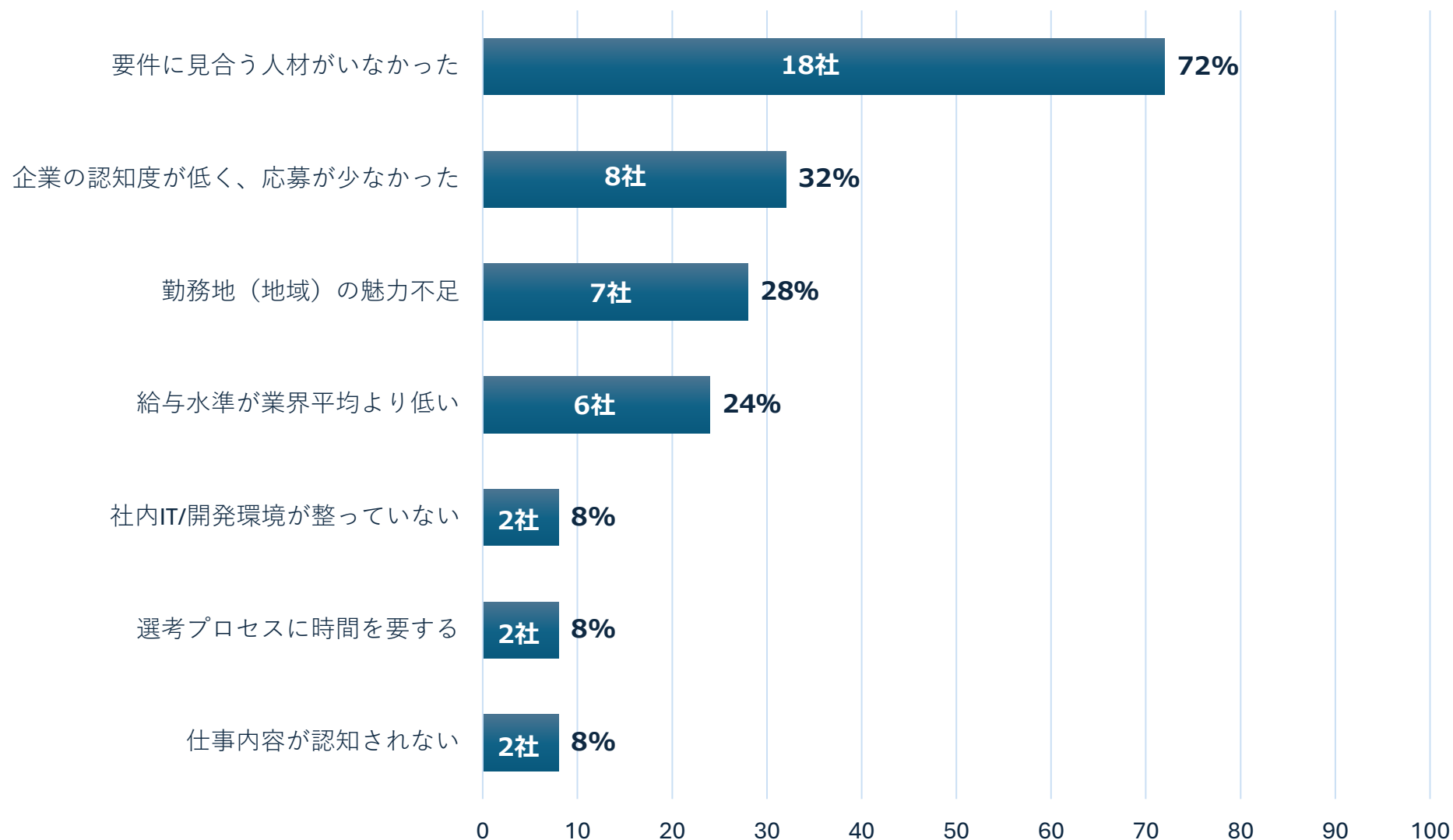
《従業員規模別》



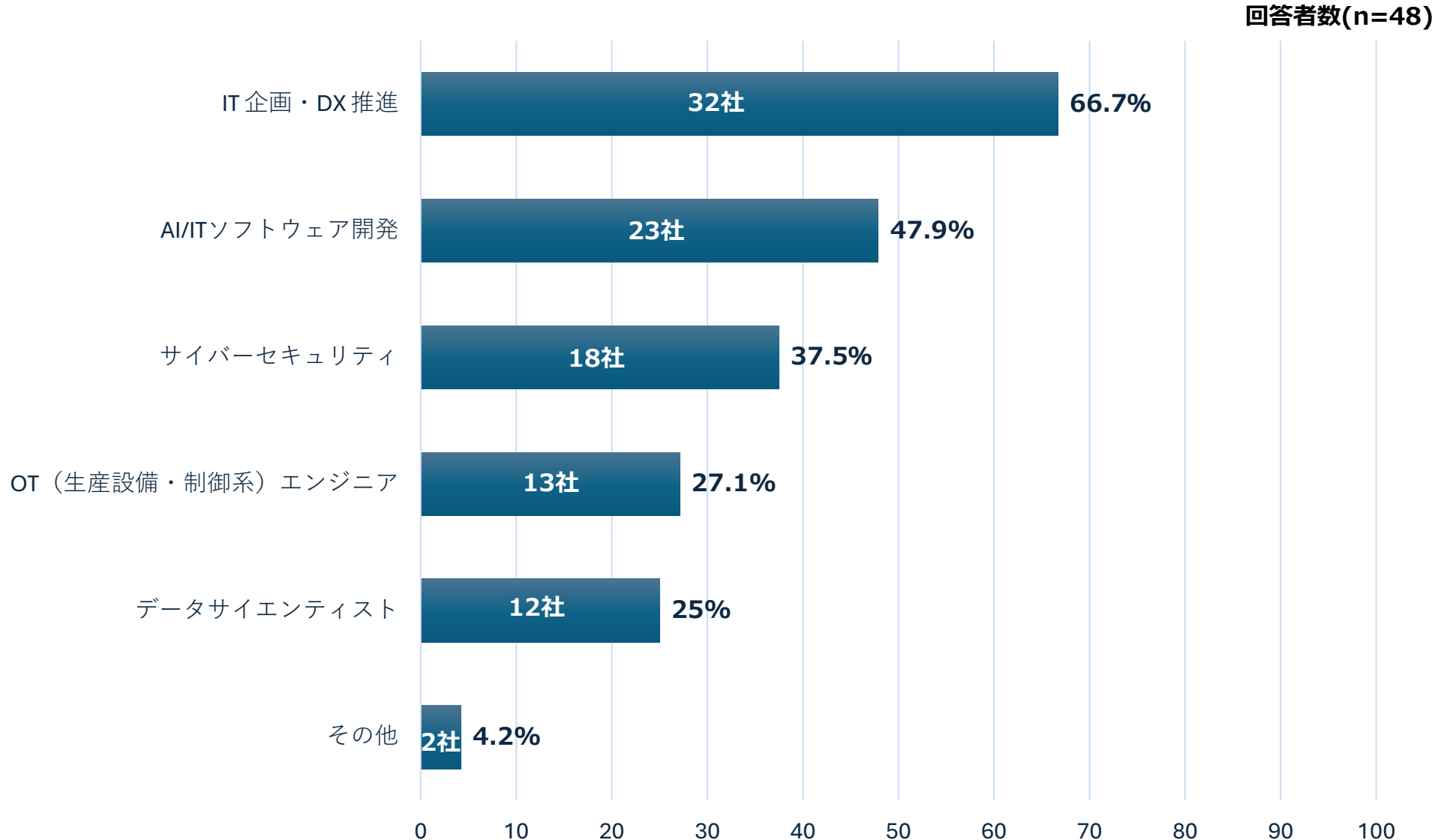
- 100%以上（予定以上に採用できた）
- 80%~99%（ほぼ計画通りに採用できた）
- 50%~80%（一定程度は採用できた）
- 50%未満（半分以下の採用にとどまった）
- 採用ができなかった

問3 直近1年間に於いて、貴社（または当部署）が必要としていたデジタル人材の採用が充足しなかった主な要因を上位3項目までお選びください。

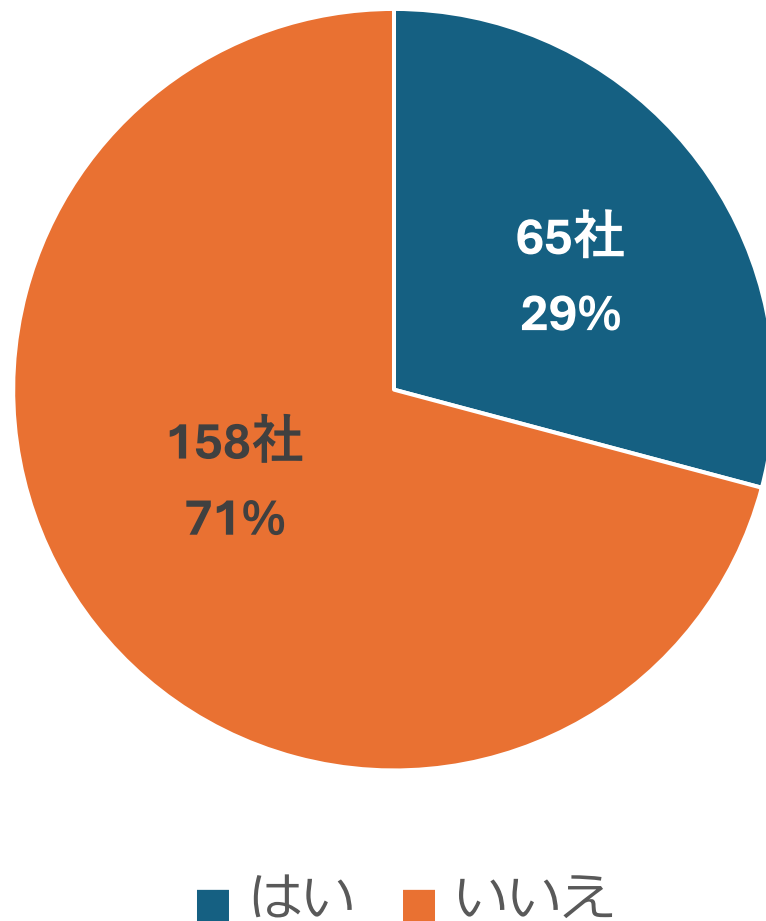
回答者数(n=25)



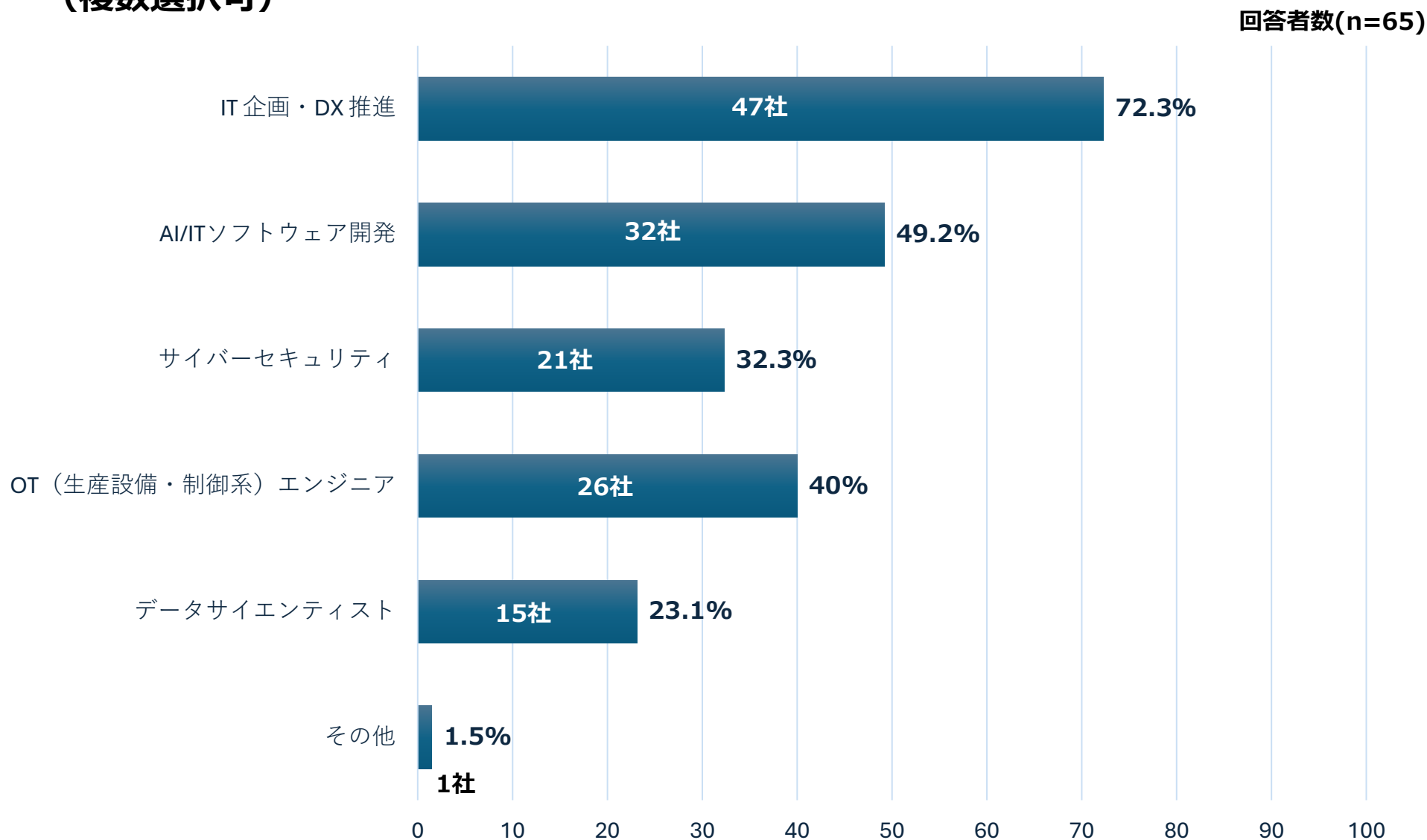
問4 貴社（または当部署）に在籍するデジタル人材について、あてはまる職種・役割をお選びください。（複数選択可）



問5 貴社（または当部署）では、今後3年間（2026年度～2028年度）にデジタル人材の採用を予定していますか。

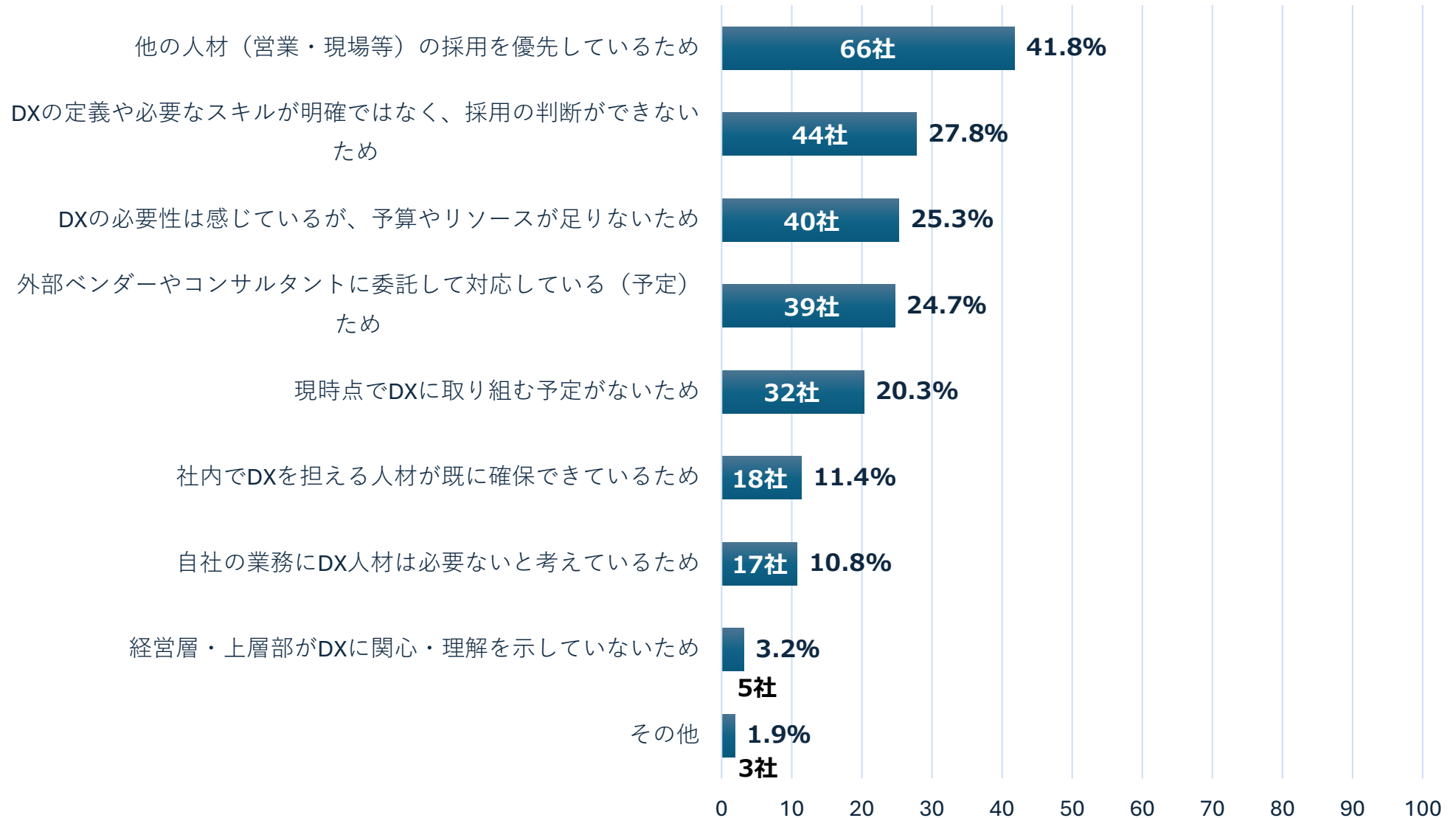


問6 貴社（または当部署）における今後3年間（2026年度～2028年度）のデジタル人材の採用計画において、採用を予定している職種・役割をお選びください。（複数選択可）

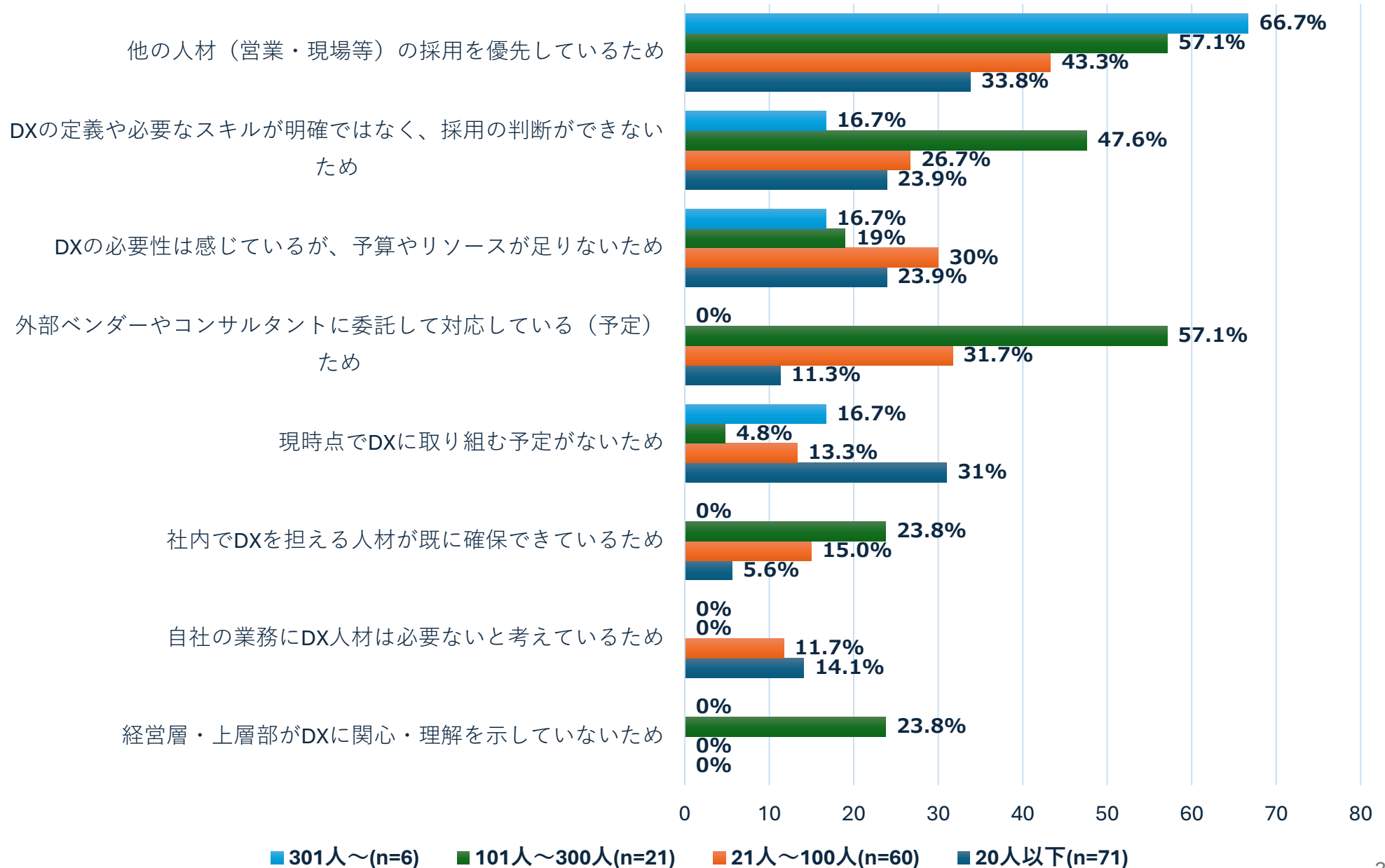


問7 今後3年間（2026年度～2028年度）にデジタル人材の採用を予定していない理由についてお答えください。（特にあてはまる項目3つまで）

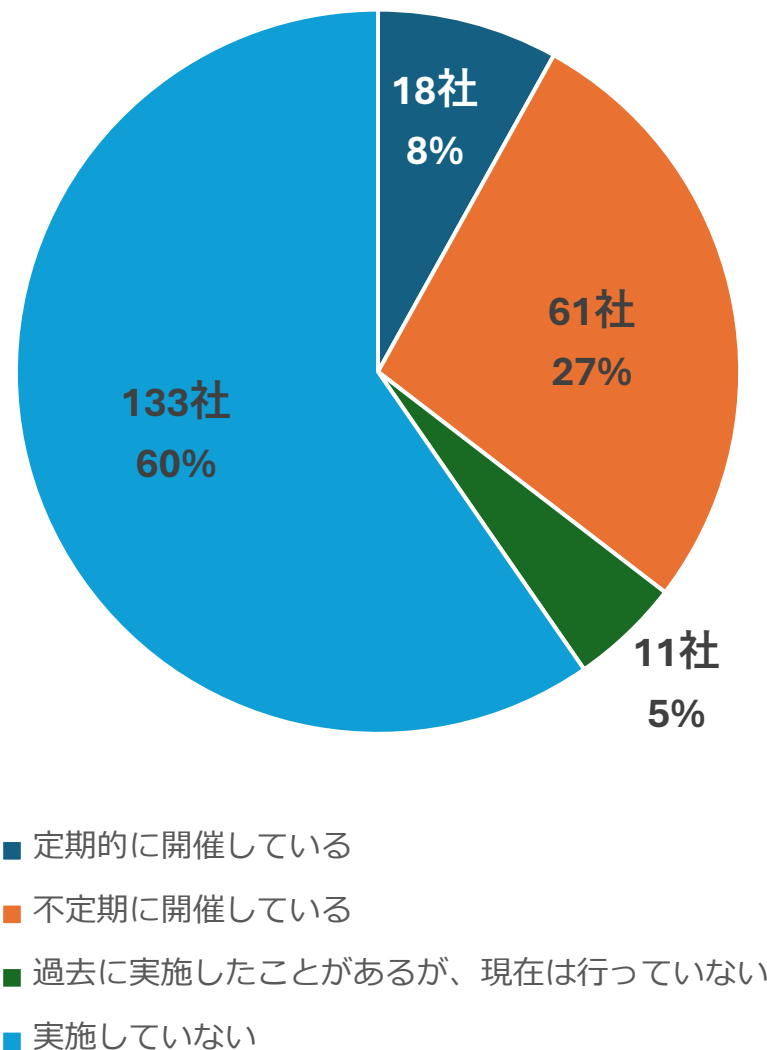
回答者数(n=158)



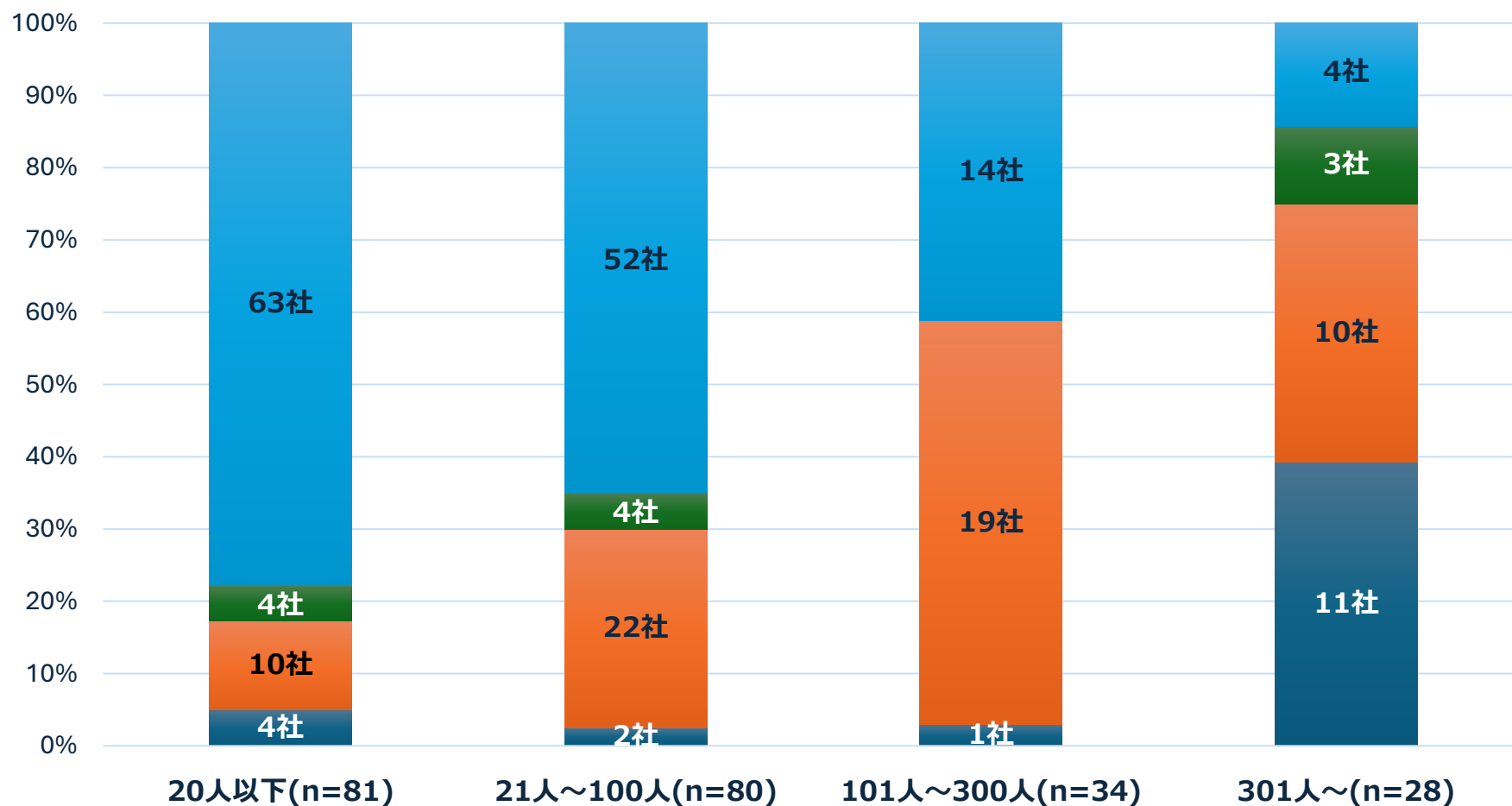
《従業員規模別》



問8 貴社（または当部署）では、既存職員を対象としたデジタルスキルに関する研修や教育を実施していますか。

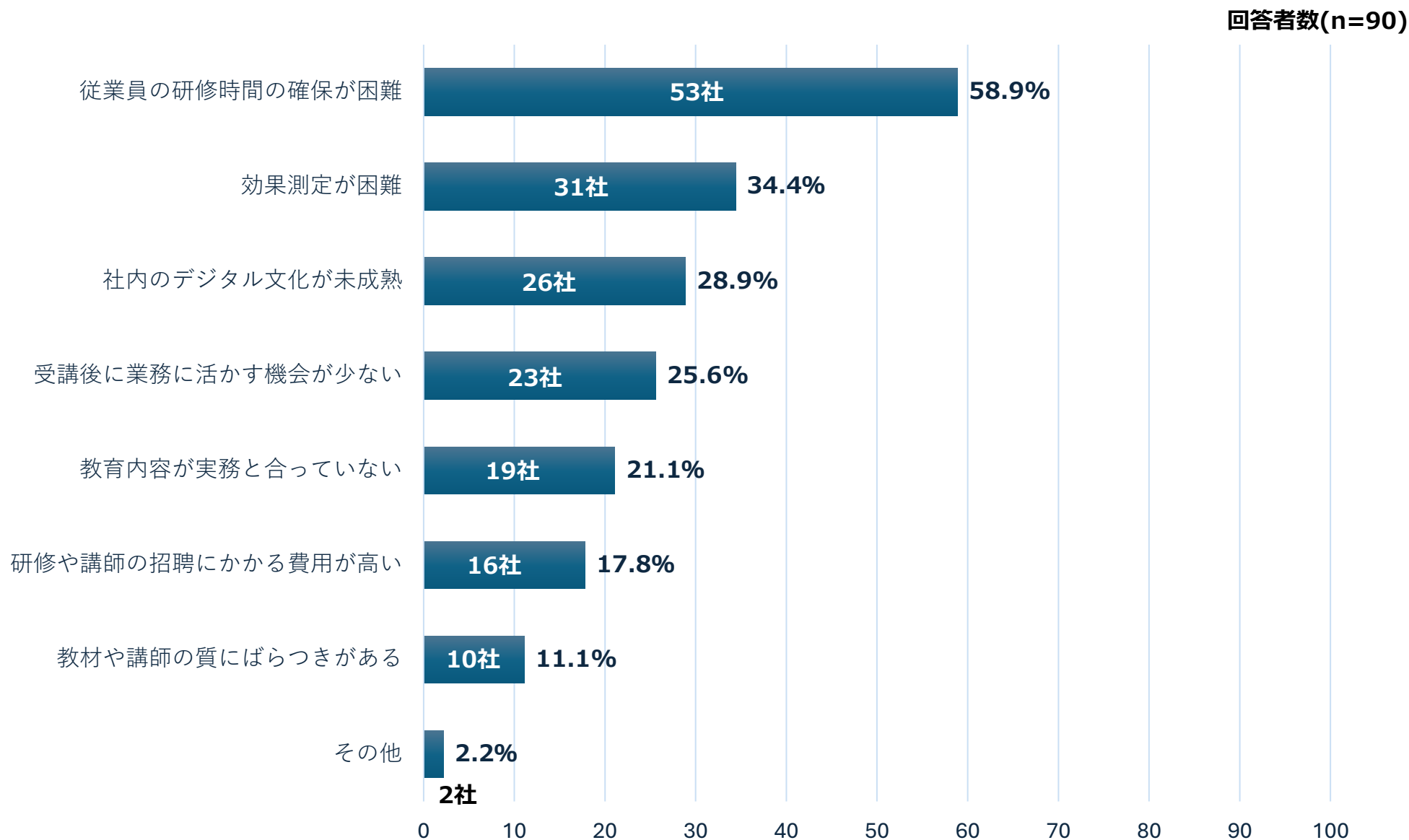


《従業員規模別》

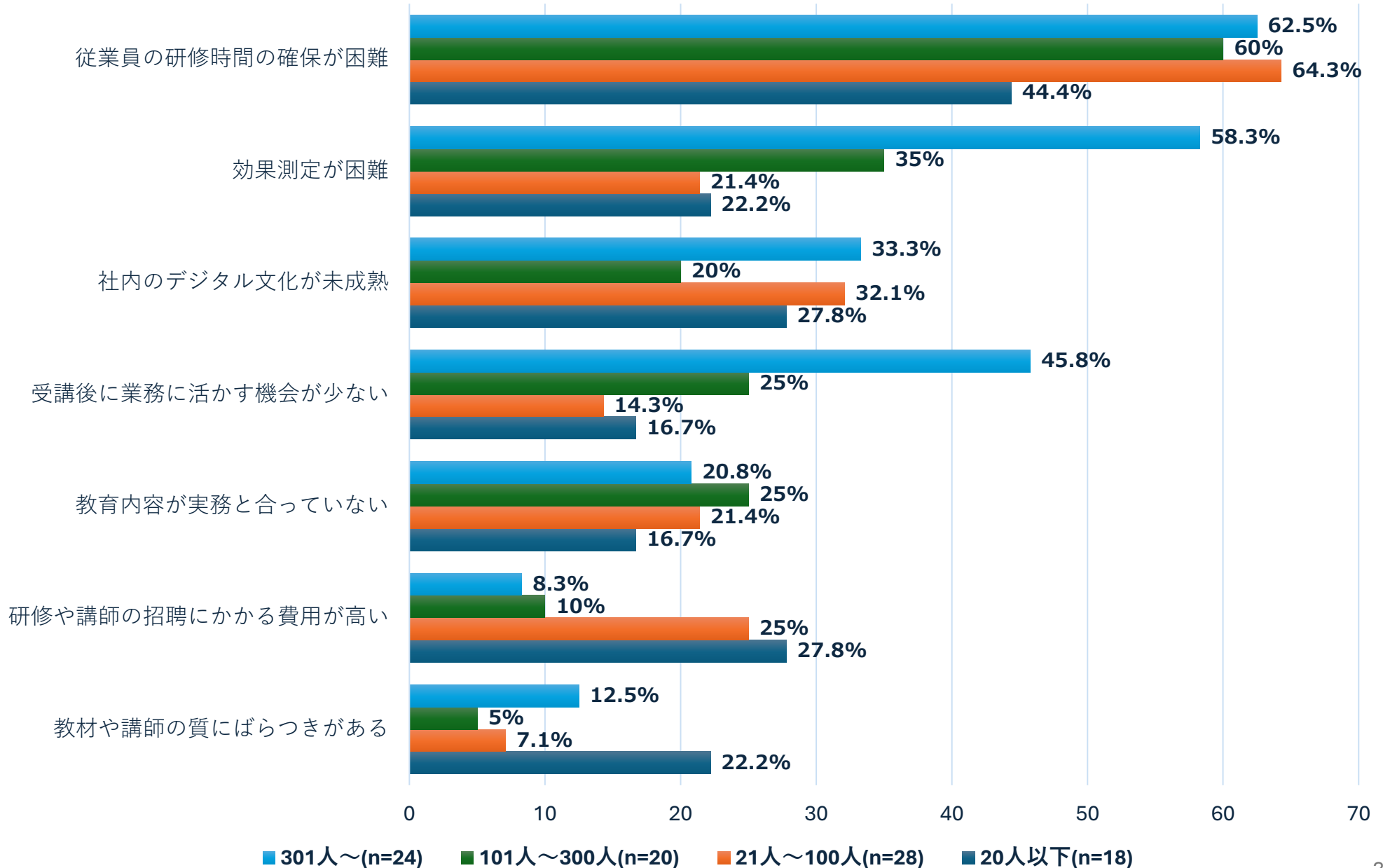


- 定期的に開催している
- 不定期に開催している
- 過去に実施したことがあるが、現在は行っていない
- 実施していない

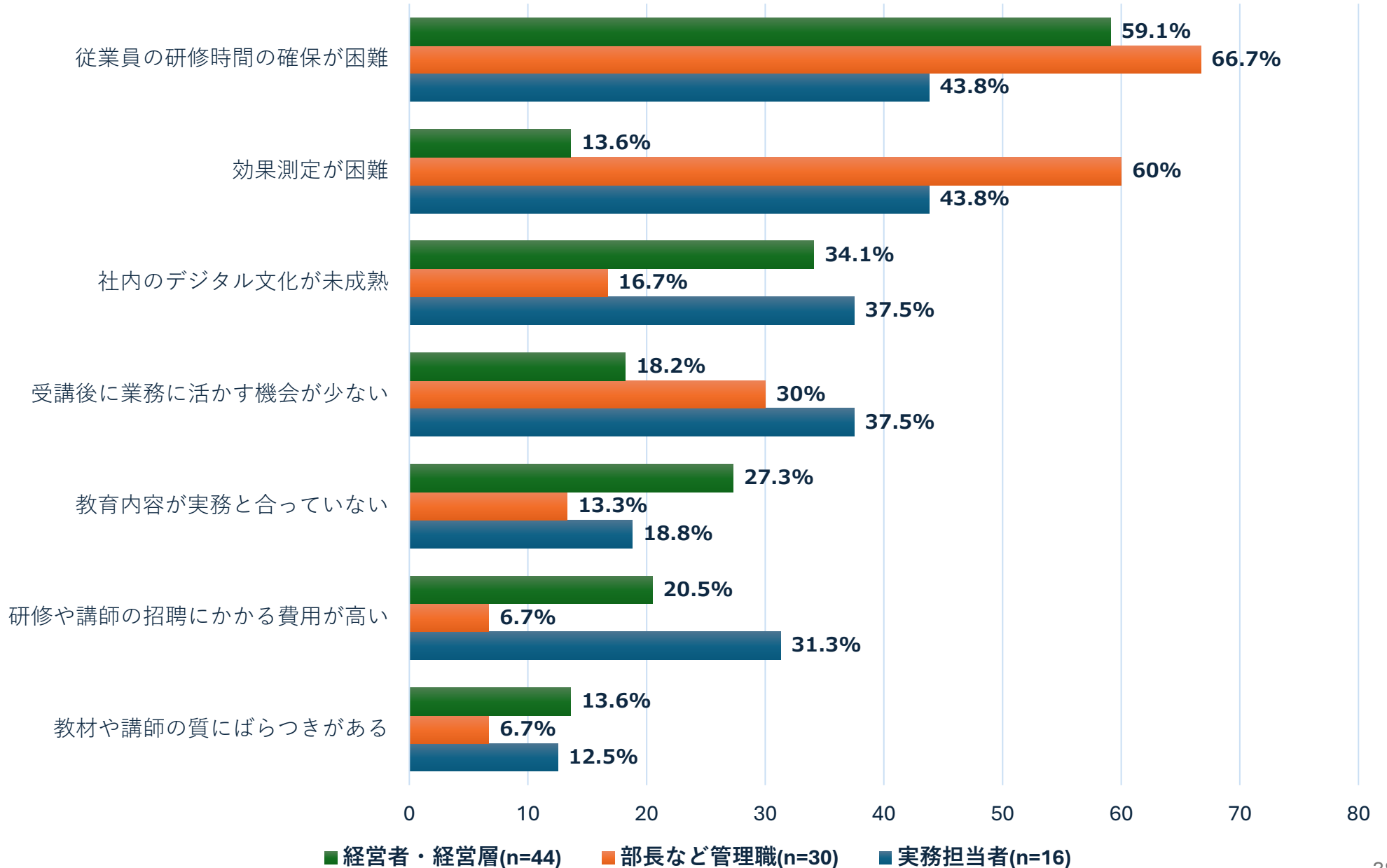
**問9 貴社（または当部署）が考えるデジタルスキル教育における課題は何ですか。
（上位3項目までお選びください。）**



《従業員規模別》

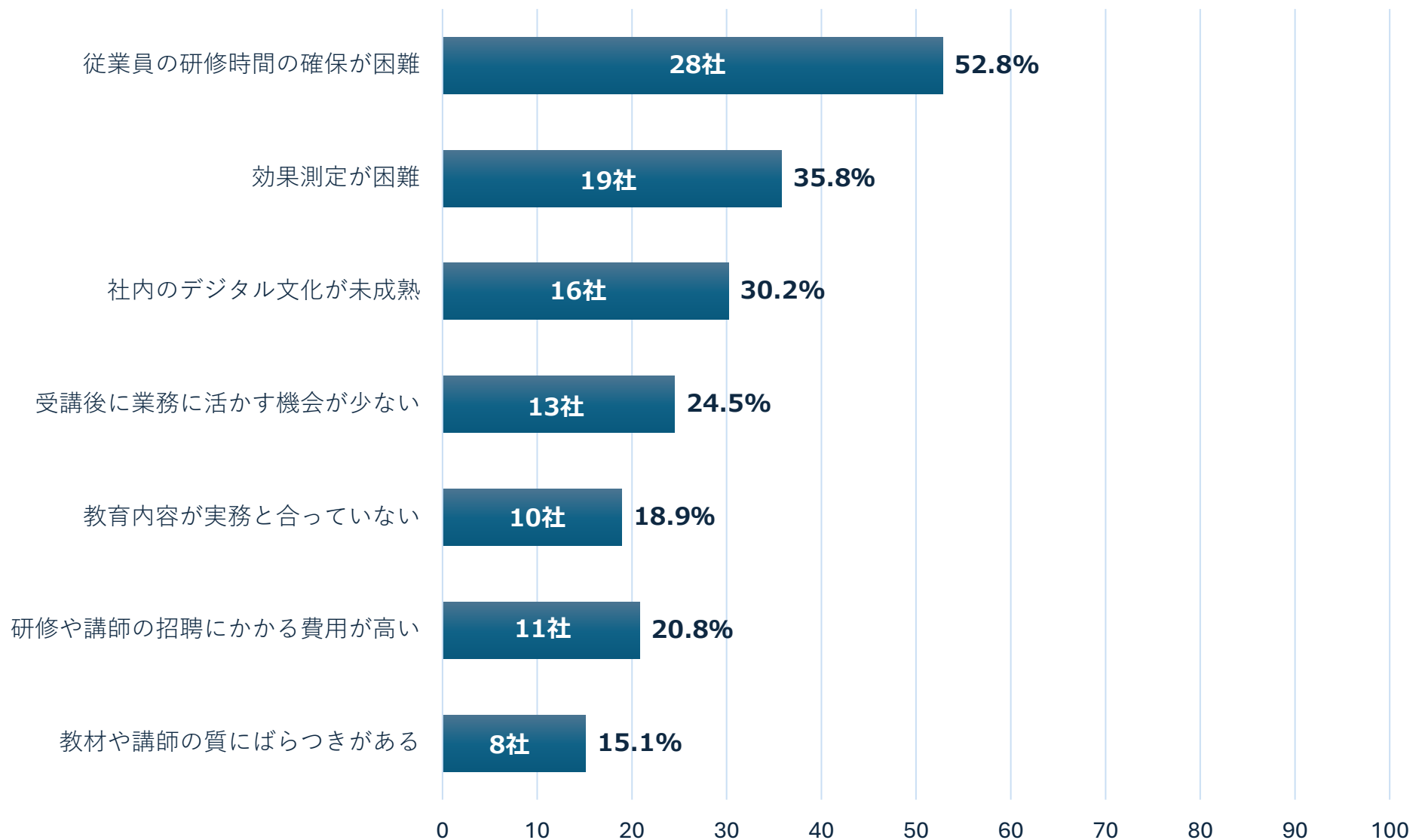


《階層別》



«DX未着手企業（「課題意識はあるが、まだ取り組めていない」と回答した企業）及びDX途上企業（「一部業務や部署での実証・試行を始める予定」と回答した企業）の回答»

回答者数(n=53)



V とやまDXコンソーシアム及び県の取組みについて

問1 これまでにとやまDXコンソーシアム及び県等が実施している取組みについてお答えください。（あてはまるものをお選びください。）

回答者数(n)		全体(n=223)	経営者・経営層 (n=110)	部長など管理職 (n=63)	実務担当者(n=50)
① とやまDXコン ソーシアム全体 会	参加したことがある	38社(17.0%)	21社(19.1%)	10社(15.9%)	7社(14.0%)
	知っているが、参加 したことはない	68社(30.5%)	35社(31.8%)	22社(34.9%)	11社(22.0%)
	知らない	117社(52.5%)	54社(49.1%)	31社(49.2%)	32社(64.0%)
② 自社課題発掘講 座、自社課題解 決講座などの研 修講座	参加したことがある	19社(8.5社)	9社(8.2%)	6社(9.5%)	4社(8.0%)
	知っているが、参加 したことはない	57社(25.6社)	31社(28.2%)	16社(25.4%)	10社(20.0%)
	知らない	147社(65.9%)	70社(63.6%)	41社(65.1%)	36社(72.0%)
③ 富山県中小企業 トランスフォー メーション補助 金	活用したことがある	80社(35.9%)	50社(45.5%)	18社(28.6%)	12社(24.0%)
	知っているが、活用 したことはない	71社(31.8%)	36社(32.7%)	20社(31.7%)	15社(30.0%)
	知らない	72社(32.3%)	24社(21.8%)	25社(39.7%)	23社(46.0%)
④ デジタル化相談 窓口	活用したことがある	11社(4.9%)	5社(4.5%)	3社(4.7%)	3社(6.0%)
	知っているが、活用 したことはない	81社(36.3%)	46社(41.9%)	19社(30.2%)	16社(32.0%)
	知らない	131社(58.8%)	59社(53.6%)	41社(65.1%)	31社(62.0%)

問2 問1で「知っているが、参加（活用）したことはない」と選択した事業について、その理由をご記入ください。

◆とやまDXコンソーシアム全体会

- ・通常業務等で時間を確保することが難しい。

◆富山県中小企業トランスフォーメーション補助金

- ・製造業などに特化した内容であり、活用したくてもできない。
- ・必要とする状況になかったため。
- ・補助金申請担当者が不在であるため。

◆自社課題発掘講座、自社課題解決講座などの研修講座

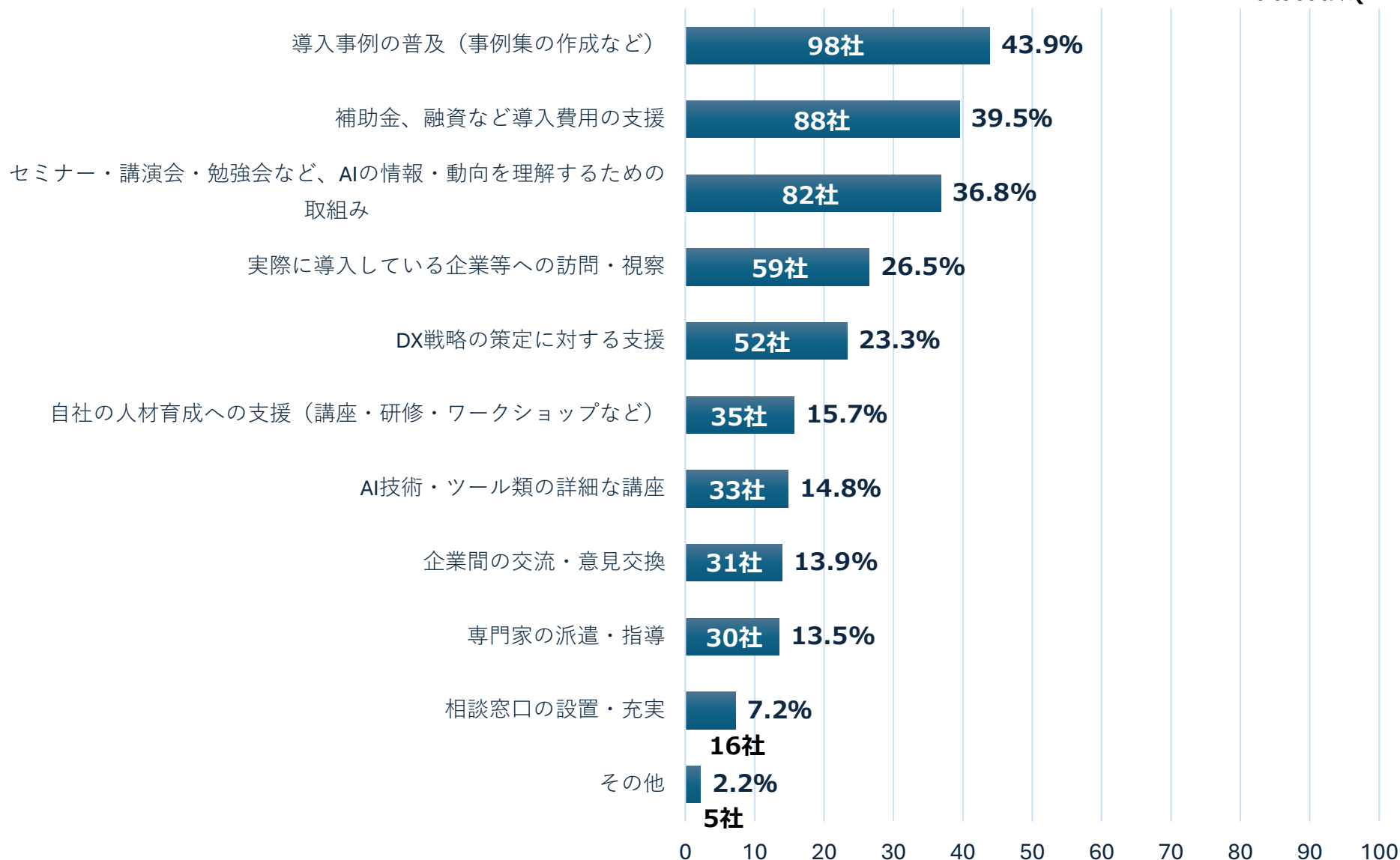
- ・時間の確保が難しく、参加に至っていない。
- ・課題の解決を掘り下げても、費用の問題は解決できないため。

◆デジタル化相談窓口

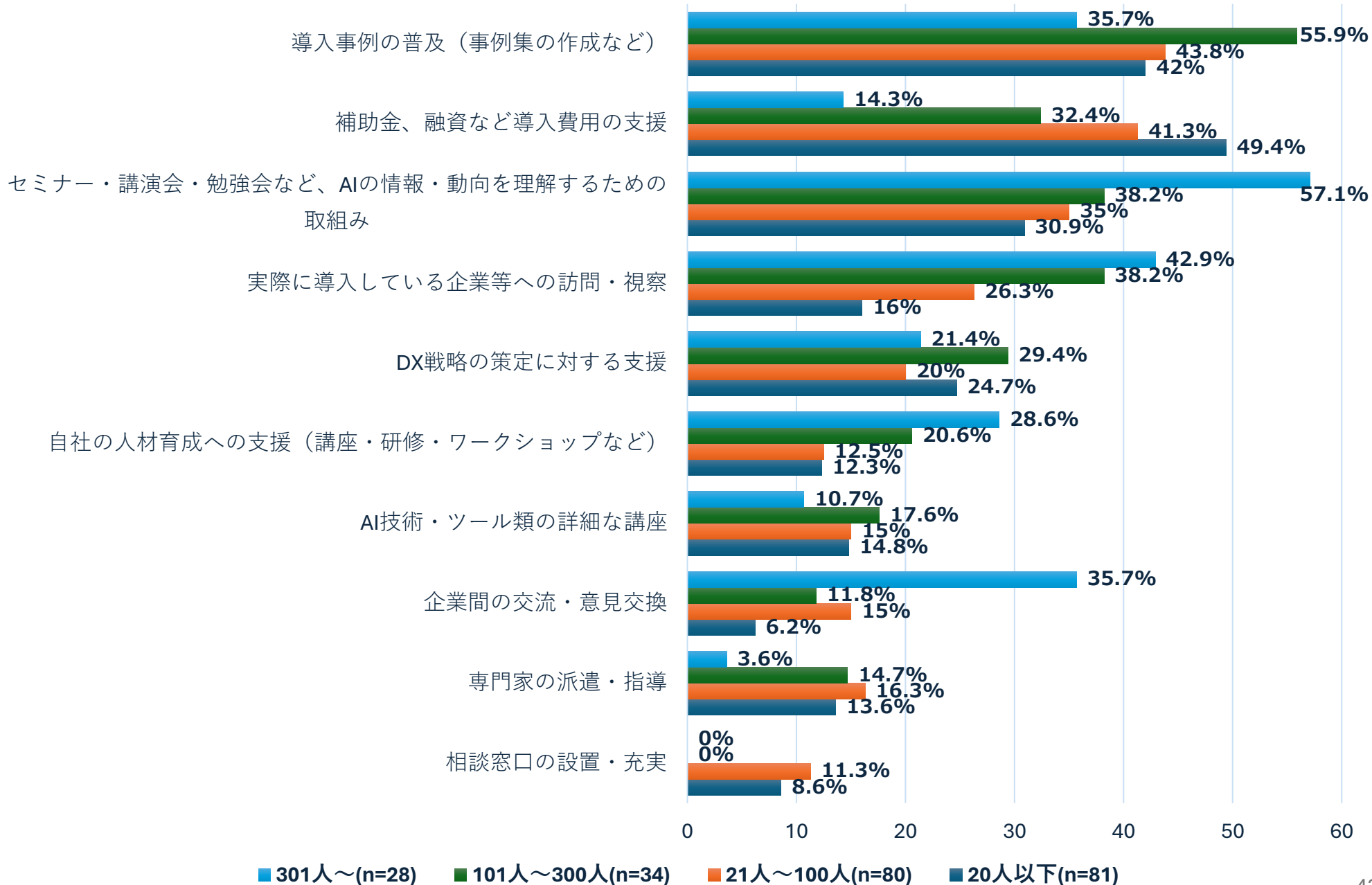
- ・具体的にどのような相談をすればよいのか整理できなかった。
- ・既に外部のコンサルと契約をしていたため。
- ・相談の内容とタイミングがかみ合わなかったため。
- ・相談員のレベルが不透明であるため。

問3 DX推進（IoT・AIの導入を含む）に向けて、とやまDXコンソーシアムや県に対して求める支援についてお答えください。（上位3項目までお選びください。）

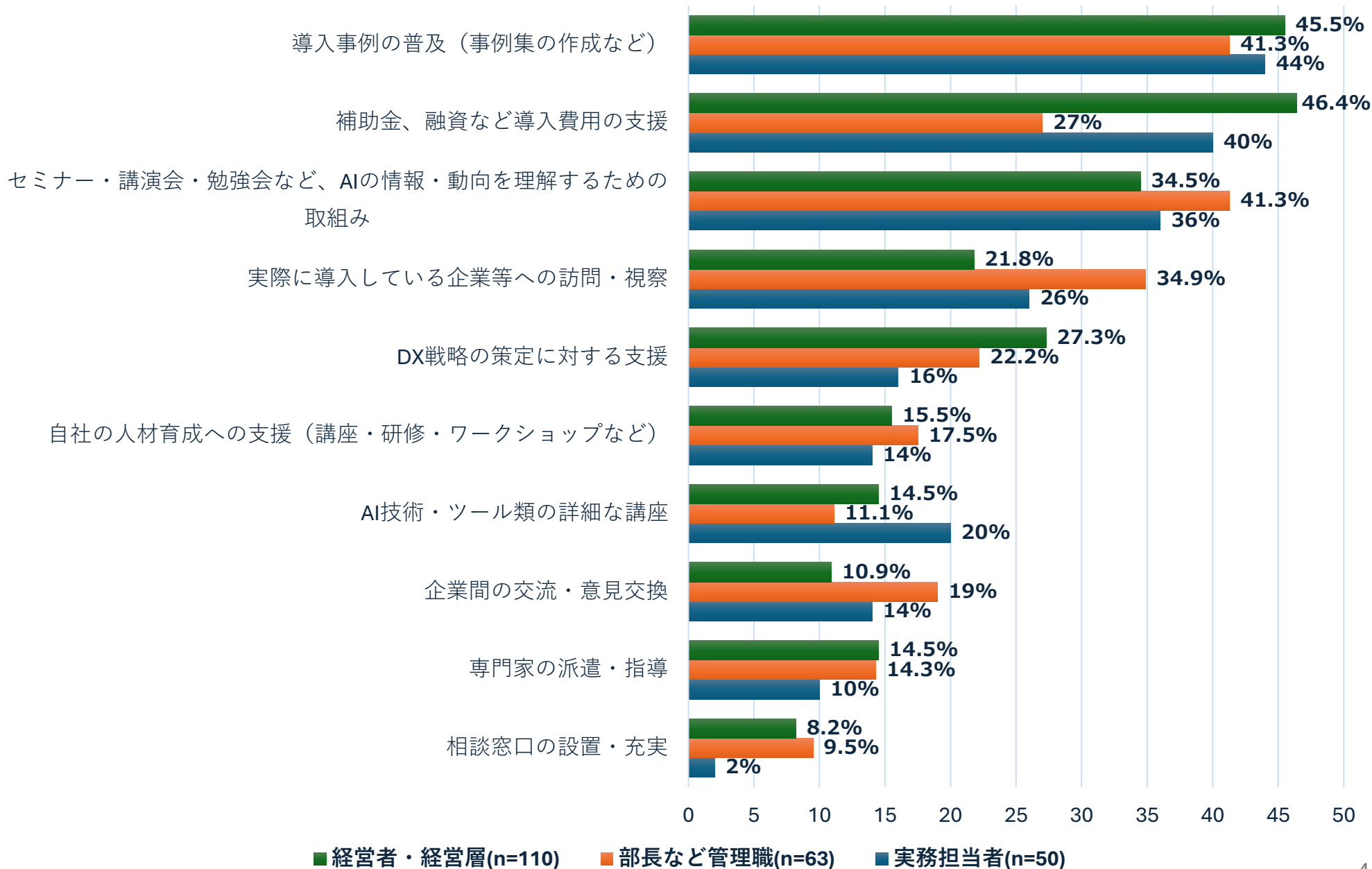
回答者数(n=223)



《従業員規模別》



「階層別」



«DX未着手企業（「課題意識はあるが、まだ取り組めていない」と回答した企業）及びDX途上企業（「一部業務や部署での実証・試行を始める予定」と回答した企業）の回答»

回答者数(n=142)

